

ふじみ野市の教育

令和8年度

ふじみ野市教育委員会

目 次

I 教育行財政

1	教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	歴代教育委員及び教育長・・・・・・・・	2
3	教育委員会組織図・・・・・・・・	3
4	事務局及び教育機関の事務分掌・・・・・・・・	4

II 教育方針

1	第3期ふじみ野市教育振興基本計画（概要）	6
2	令和8年度教育費予算	8

III 学校教育・生涯学習

1	生きる力の育成・・・・・・・・	9
2	絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進	19
3	協働による持続可能な地域づくりのための学びの推進	22

IV 学校紹介

1	小学校・・・・・・・・	33
2	中学校・・・・・・・・	39
	～児童・生徒数の推移～	42

V 社会教育施設紹介

1	図書館・・・・・・・・	43
2	博物館・・・・・・・・	45

資料 教育施設案内図

あったかな絆で未来を紡ぐふじみ野の『共育^{*1}』～Fujimino Well-being～をめざして

ふじみ野市では、「ふじみ野市将来構想 from2018to2030」において、将来の都市像を「人がつながる豊かで住み続けたいまちふじみ野」と定め、心豊かなまちをつくり、何世代にもわたって住み続けたいと思うことのできるまちを目指しております。

これを実現するため、教育委員会では、令和7年度から令和12年度までの6年間を計画期間とした「第3期ふじみ野市教育振興基本計画」を策定し、「あったかな絆で未来を紡ぐふじみ野の『共育』～Fujimino Well-being(ふじみ野 ウェルビーイング)～」の達成を目指し、各種施策を展開してまいります。

本冊子「ふじみ野市の教育」は、本市における令和7年度の教育行政の実績と令和8年度に実施する教育行政の概要についてまとめたものです。

将来を展望した積極的な教育行政を推進してまいりますので、皆様の温かい御理解と御協力をお願い申し上げます。

ふじみ野市教育委員会

Fujimino Well-being(ふじみ野 ウェルビーイング)とは？

第1期と第2期ふじみ野市教育振興基本計画で取り組んできた、子供と大人の相互の学びが人づくりとまちづくりの好循環を生み出す「共育」に、学校・家庭・地域が連携・協働して一層取り組むことで、子供を真ん中に置きながら、教育に携わる者だけでなく、更には地域や社会までもが、精神的な豊かさや健康までを含めた幸福や生きがいを実感できるようになることです。第3期ふじみ野市教育振興基本計画を通して、ウェルビーイングの実現に取り組めます。

^{*1} 共育：第1期及び第2期ふじみ野市教育振興基本計画の基本理念として掲げた、学校を核として、子供と大人が共に学びあい、その学びの成果が次の学びへとつながり、人づくりとまちづくりの好循環を生むという考え方。

I 教育行財政

1 教育委員



教 育 長
山 崎 祐 一



教育長職務代理者
茂 井 万里絵



委 員
西 山 幸 吉



委 員
吉 野 榮



委 員
星 野 弘 明

職 名	氏 名	現 在 の 任 期
教 育 長	山 崎 祐 一	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 3 1 日
教育長職務代理者	茂 井 万里絵	令和 5 年 5 月 2 2 日 ～ 令和 9 年 5 月 2 1 日
委 員	西 山 幸 吉	令和 8 年 3 月 1 9 日 ～ 令和 1 2 年 3 月 1 8 日
委 員	吉 野 榮	令和 4 年 1 1 月 2 5 日 ～ 令和 8 年 1 1 月 2 4 日
委 員	星 野 弘 明	令和 6 年 1 2 月 1 2 日 ～ 令和 1 0 年 1 2 月 1 1 日

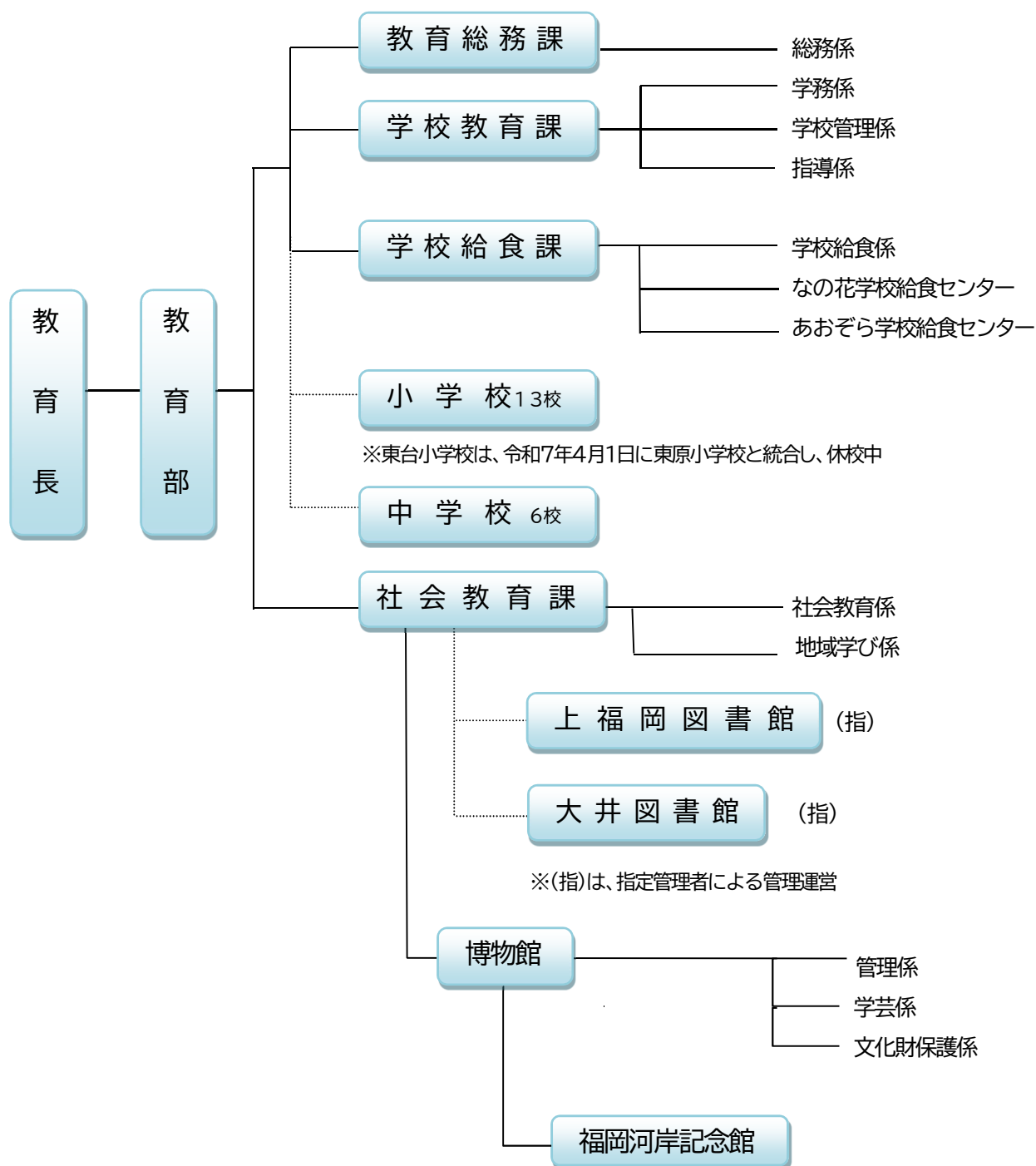
2 歴代教育委員及び教育長

氏 名	教 育 委 員		教 育 委 員 長		教 育 長	
西 山 安 吉	H17.10.1	H19.11.24	H17.11.25	H19.11.24		
吉 野 英 明	H17.10.1	H20. 9.16			H17.10.1	H20. 9.16
星 野 貴 一	H17.10.1	H20.11.24				
金 子 繁	H17.10.1	H21.11.24	H17.10.1 H19.11.26	H17.11.24 H21.11.24		
富 山 章	H17.10.1	H26.11.24	H21.11.25	H26.11.24		
雪 平 定 夫	H19.11.25	H27.3.31	H26.11.25	H27.3.31		
松 下 勇 司	H20.12.12	H21.11.24			H20.12.12	H21.11.24
宮 寺 康 夫	H20.12.12	H24.12.11				
矢 島 秀 一	H22. 3.19	H26. 3.18			H22. 3.19	H26. 3.18
小 熊 千寿子	H22. 3.19	H26. 3.18				
富 田 信太郎	H24.12.12	R6.12.11				
塩 野 好 一	H26. 3.19	R4. 3.18				
朝 倉 孝	H26. 4. 1	H27. 3.31			H26. 4. 1	H27. 3.31
山 城 いづみ	H26.11.25	H30.11.24				

平成27年度以降

氏 名	教 育 委 員		教育長職務代理者		教 育 長	
朝 倉 孝					H27. 4. 1	R8. 3. 31
山 崎 祐 一					R8. 4. 1	R9. 3. 31
富 田 信太郎	H24.12.12	R6.12.11	H27. 4. 1	R6.12.11		
塩 野 好 一	H26. 3.19	R4. 3.18				
山 城 いづみ	H26.11.25	H30.11.24				
伊 藤 英 夫	H27. 5.22	R1. 5.21				
丸 山 昇	H30.11.25	R4.11.24				
茂 井 万里絵	R1. 5.22	R9. 5.21	R6.12.12	R9.5.21		
西 山 幸 吉	R4. 3.19	R12. 3.18				
吉 野 榮	R4.11.25	R8.11.24				
星 野 弘 明	R6.12.12	R10.12.11				

3 教育委員会組織図



4 事務局及び教育機関の事務分掌

課	分掌事務
教育総務課	1 教育委員会の会議に関すること。
	2 職員の人事に関すること。
	3 教育長の秘書及び渉外に関すること。
	4 公印の管理に関すること。
	5 規則、規程等の制定改廃に関すること。
	6 入学準備金及び奨学金の利子補給等に関すること。
	7 学校施設の整備及び維持管理に関すること。
	8 学校備品に関すること。
学校教育課	1 学校経営、学校管理の指導及び助言に関すること。
	2 教職員の人事、管理及び服務に関すること。
	3 学級編制に関すること。
	4 教育課程に係る指導及び助言に関すること。
	5 教育指導に係る研修に関すること。
	6 学校人権教育に係る指導及び助言に関すること。
	7 生徒指導、教育相談に係る連絡、調整及び推進に関すること。
	8 特別支援教育の教育課程に係る指導及び助言に関すること。
	9 地域協働学校の推進に関すること。
	10 児童・生徒の就学支援に関すること。
	11 教科用図書及びその他の教材の取扱いに関すること。
	12 児童・生徒の学籍及び就学等に関すること。
	13 通学区域の設定及び改廃に関すること。
	14 就学援助に関すること。
	15 健康教育に関すること。
	16 学校保健及び学校安全に関すること。
	17 学校開放に関すること。
	18 ふじみ野市PTA連合会に関すること。
学校給食課	1 学校給食事業の実施に関すること。
	2 学校給食センター運営審議会に関すること。
	3 児童・生徒の食育に関すること。
	4 学校、学校給食センターとの連絡調整に関すること。
	5 学校給食センター施設設備の維持管理及び運営に関すること。
	6 学校給食費に関すること。

課	分掌事務
社会教育課	1 社会教育の推進に関すること。
	2 社会教育委員に関すること。
	3 人権教育に関すること。
	4 地域学校協働活動の推進に関すること。
	5 社会教育施設の設置及び管理に関すること。
	6 二十歳の集いに関すること。
	7 学校運動場照明施設及び学校体育施設の開放に関すること。
	8 図書館に関すること。
	9 文化財の保護、調査及び保存に関すること。
	10 文化財の指定及び解除に関すること。
	11 文化財保護審議会に関すること。
	12 文化財の普及、啓発及び活用に関すること。
	13 青少年教育のための事業に関すること。
	14 成人教育のための事業に関すること。
	15 高齢者教育のための事業に関すること。
	16 女性教育のための事業に関すること。
	17 討論会、講演会、講習会、実習会、展示会、音楽会、演劇会等に関すること。
	18 社会教育に係るサークル活動、グループ活動等団体の育成、助成及び指導に関すること。
	19 体育、レクリエーション等に関すること。
	20 年中行事に関すること。
	21 その他社会教育活動に関すること。

Ⅱ 教育方針

1 第3期ふじみ野市教育振興基本計画(概要)

1 計画の基本理念

子供と大人の相互の学びが人づくりとまちづくりの好循環を生み出す「共育」を推進するとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して一層取り組むことで、子供を真ん中に置きながら、教育に携わる者だけでなく、地域や社会までもが、幸福や生きがいを実感できるようになる、社会全体のウェルビーイングの実現に取り組んでいきます。

時代の潮流や、これまでの取組を踏まえ、次の基本理念を掲げて計画の推進を図ります。

あったかな絆で未来を紡ぐふじみ野の「共育」

ふじみ野 ウェルビーイング
～Fujimino Well-being～

2 基本方針

本市教育の基本理念の実現にむけて、次の3つの基本方針に沿って施策の展開を図ります。

基本方針1 生きる力の育成

「主体的・対話的で深い学び」の教育活動を展開し、急激に変化する社会の中でも、他者と共に、たくましく生き抜く力を備えた子供を育成するとともに、確かな学力(知識・技能に加え、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決する力)と、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける子供たちの育成を図ります。

基本方針2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進

新しい時代に求められる資質・能力を育むために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、連携・協働して絆を深め、従来の枠組みや既成概念に捉われず、子供から大人までが共に学び合い、共によりよい社会の創り手となれるような「共育」の推進を図ります。

基本方針3 協働による持続可能な地域づくりのための学びの推進

市民一人一人が、生涯学習を通して幸せや生きがいを感じるとともに、自らが地域社会の創り手となり、郷土愛を育み、多様な主体と協働でつくる豊かで住みやすい持続可能な地域づくりのための学びと文化芸術・スポーツ活動の推進を図ります。

3 施策体系

基本理念
あったかな絆で未来を紡ぐふじみ野の「共育」～Fujimino Well-being～

基本方針	施策	施策の展開
基本方針1 生きる力の育成	1 確かな学力を育む教育の推進	①多様な教育ニーズに対応し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進
		②新しい時代に求められる資質・能力の育成
		③伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
		④教育DXの推進
		⑤社会に開かれた教育課程を活用した自立する力の育成
		⑥主体的に社会の形成に参画する力の育成
	2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進	①共生社会の実現に向けた教育の推進と社会的包摂
		②人権を尊重した教育の推進
		③道徳教育の推進
		④体験活動の充実
		⑤生徒指導の充実
		⑥教育相談の充実
		⑦学校保健・体育、食育の推進
		⑧読書活動の推進
	3 変化に柔軟に対応できる教育環境の充実	①小中連携・小中一貫教育の推進
		②学校の組織運営の改善
		③教職員の資質・能力の向上
		④質の高い教育を支えるICT環境の充実
		⑤学校安全の推進
		⑥学校施設の計画的整備の推進
		⑦学校給食センターの管理・運営の充実
基本方針2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進	4 地域との連携・協働による教育の推進	①家庭・地域と連携した教育の充実
		②地域協働学校の推進
		③新しい学びの拠点としての学校施設の活用促進
	5 子供と家庭をあったかく包みこむ地域づくりの推進	①家庭教育事業の充実
		②放課後を活用した体験活動の充実
基本方針3 協働による持続可能な地域づくりのための学びの推進	6 生涯にわたる学びの機会と誰もが地域や社会で活躍できる「場」の創出	①地域課題の解決と持続可能な地域づくりの基盤を支える社会教育の推進
		②生涯学習・社会教育活動の奨励と支援
		③学びの成果を還元し共に活躍する仕組みの充実
		④地域の歴史文化の活用と継承
		⑤人権教育と平和事業の推進
	7 文化芸術・スポーツ活動を通じた地域交流、コミュニティの活性化	①文化芸術活動の推進
		②スポーツ活動の推進
		③地域の文化芸術・スポーツクラブ活動と中学校部活動との連携・協働

2 令和8年度教育費予算（当初予算ベース）

◎教育費の推移

（単位：千円）

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
一 般 会 計	47,070,382	52,766,946	53,224,526
教 育 費	6,399,217	7,341,757	6,747,255
一般会計に対する 教育費の割合	13.6%	13.9%	12.7%

◎教育費内訳

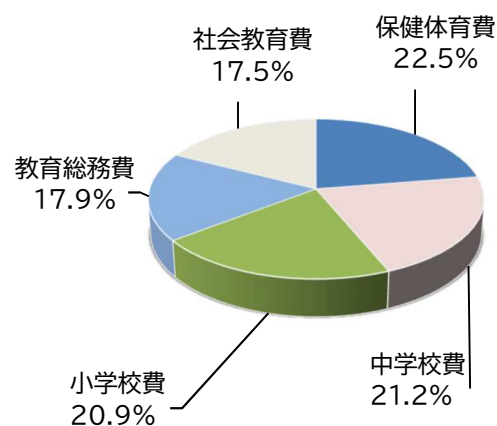
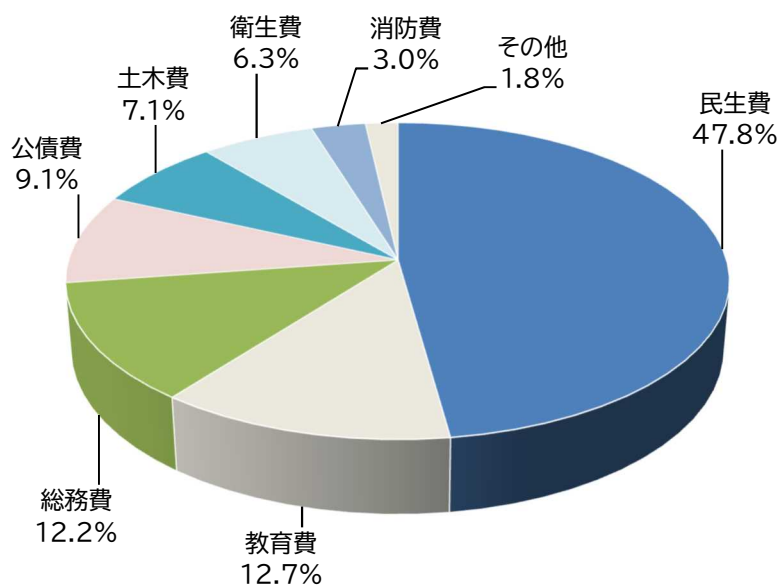
（単位：千円）

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
教育総務費	1,512,110	1,563,204	1,207,588
小 学 校 費	393,187	470,955	1,408,884
中 学 校 費	1,261,649	2,216,340	1,426,777
社会教育費	1,811,693	1,560,017	1,183,219
保健体育費	1,420,578	1,531,241	1,520,787
合 計	6,399,217	7,341,757	6,747,255

◎令和8年度予算における教育費の割合

一般会計(53,224,526千円)

教育費(6,747,255千円)



Ⅲ 学校教育・生涯学習

基本方針1 生きる力の育成

施策1 確かな学力を育む教育の推進

(1) 多様な教育ニーズに対応し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進

主体的・対話的で深い学びを目指す中で、個別最適な学びと協働的な学びの視点を持った授業改善に取り組みます。また、自己調整学習(学習進度や到達度に応じて、自らの学習を調整しながら粘り強く取り組む学習)を通して、児童生徒の学習意欲と学力の確実な向上を図るとともに、一人一人の児童生徒が基礎的・基本的な知識や技能を着実に習得し、思考力・判断力・表現力を育みながら、主体的に学習へ取り組む態度を養える教育を推進します。そして、児童生徒一人一人の興味・関心・意欲等に寄り添った、きめ細やかな指導・支援の充実を図り、個々の可能性を最大限に引き出すことに取り組みます。

全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査などの成果や課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善を積極的に推進します。これらの取組を通じて、児童生徒がより自立的・協働的に学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く力を育む教育環境の実現を目指します。

■全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果【小・中学校】(平均正答率%)

	教科	ふじみ野市	埼玉県	全国
小6	国 語	67	68	66.8
	算 数	59	58	58.0
	理 科	58	58	57.1
中3	国 語	54	55	54.3
	数 学	51	50	48.3
	理 科(IRT スコア)	497	502	503

資料:令和7年度全国学力・学習状況調査結果:ふじみ野市教育委員会結果概要

■埼玉県学力・学習状況調査 教科に関する調査結果【小学校】(平均正答率%)

	教科	ふじみ野市	埼玉県
小4	国語	52.8	52.5
	算数	66.2	66.2
小5	国語	63.3	62.8
	算数	47.4	48.3
小6	国語	60.1	59.3
	算数	52.8	52.4

資料:令和7年度埼玉県学力・学習状況調査結果

■埼玉県学力・学習状況調査 教科に関する調査結果【中学校】(平均正答率%)

	教科	ふじみ野市	埼玉県
中1	国語	61.5	62.5
	数学	52.6	52.0
中2	国語	56.3	54.6
	数学	55.7	51.5
	英語	65.4	60.2
中3	国語	56.8	57.0
	数学	58.6	56.7
	英語	54.9	51.5

資料:令和7年度埼玉県学力・学習状況調査結果

(2) 新しい時代に求められる資質・能力の育成

児童生徒が主体性や当事者意識を持ち、多様な人々と協働しながら自立及び自律する力を育む教育を推進します。また、児童生徒が幸せや生きがいを感じられるウェルビーイングを実現し、将来の夢や目標を持って自立した大人へと成長できるよう、一人一人に応じたきめ細やかな指導・支援を充実させ、自尊心を高める応援を行います。さらに、多様な人々との交流を通じて新たな価値を発見・創造し、豊かな人生や社会の未来を切り拓く力を育成するとともに、言語能力・情報活用能力・問題発見・解決能力の向上を図る教育を推進します。

(3) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進

社会経済的課題の解決に参画するグローバル・リーダーや、グローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材の育成を目指すとともに、ふじみ野市をはじめ我が国の伝統と文化を尊重しつつ、教育活動全体を通じて国際社会の平和と発展に寄与する態度や地球規模の課題に挑戦する精神を養います。加えて、異なる文化や価値観を乗り越えて関係を築く力や多文化共生の精神を育み、グローバル化に対応するための外国語教育や、SDGsの実現に貢献するESD(持続可能な開発のための教育)の推進を図るとともに、連携協定大学との取組も検討します。

(4) 教育DXの推進

急速に進展するデジタル社会の技術革新に対応し、児童生徒がこれからの時代を生き抜くための情報活用能力を、学習の基盤となる資質・能力として育成します。また、実際に「書く」ことを大切にしながら、ICTを活用した学習活動の充実を図るとともに、学習者用デジタル教科書の段階的導入やGIGAスクール構想の着実な推進により、一人一台端末の活用を通じて情報活用能力の向上を支援し、将来のデジタル人材の育成につなげます。

市内小学校8校で進める CBT(コンピューター上で試験を行う方式)の実施については、効果を検証しながら、令和9年度市内小学校全校に拡大し、個別最適な学びを推進します。

児童生徒の科学技術や理科、算数・数学、ものづくりへの興味・関心を高め、基礎的素養や論理的に思考する力の育成を目指します。また、教育データの効果的な分析・利活用により新たな知見の創出を図り、社会の持続的な発展を牽引する人材を育成するとともに、日常の授業・学習におけるMEXCBT(文部科学省開発のオンライン学習システム)の活用や、基本的な操作技能、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する指導の充実を推進します。

(5) 社会に開かれた教育課程を活用した自立する力の育成

児童生徒が社会とのつながりの中で学ぶことを通じて、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持てる教育を推進します。また、各発達段階に応じて関係機関や関係部局等と連携・協働し、社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むことで、自分らしい生き方の実現を促す進路指導・キャリア教育の充実を図ります。

(6) 主体的に社会の形成に参画する力の育成

児童生徒が望ましい集団活動を通じて自己を生かし、社会の中で自立し他者と協力しながら生き抜く力を育むことを目指します。また、発達段階に応じて関係機関と連携し、教科等横断的な視点に立った教育を推進するとともに、探求的な学習や体験学習を通じて多様な他者と協働し、主体的に学びながら話し合い・考えをまとめる力を高めることで、自己の学びを深め、コミュニケーション能力や問題解決能力の育成を図ります。

学校課題研究や個人・グループ・専門研究等の機会に、自由進度学習について研究を進めるとともに、専門家による指導や研究発表会を開催して好事例を共有するなど、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を図ります。

施策2 心身ともに健康で、豊かな人間性を育む教育の推進

(1) 共生社会の実現に向けた教育の推進と社会的包摂^{*1}

多様な個人がそれぞれのよさや可能性に気づき、伸ばしていく学びを推進するとともに、個々の教育ニーズに対応した多様な学びの場の整備を進め、インクルーシブ教育システムの構築を視野に入れた特別支援教育の充実を図ります。また、個々の「長所・強み」を生かし、互いに認め合い・支え合い・尊重し合いながら共に生きる社会的包摂の実現を目指します。

不登校対策(COCOLOプラン)により、誰一人取り残されない学びの保障に取り組むとともに、日本語指導が必要な児童生徒に対しては、関係機関と連携・協働しながら、適切な支援を推進します。

LGBTQやヤングケアラーへの正しい理解を深めるための周知・啓発を行い、ヤングケアラーについては早期発見につなげ、関係機関と連携したきめ細やかな支援に取り組みます。教育相談室の教育心理相談員や各学校のスクールカウンセラー等による教育相談においては、保護者が子育てに関して多様な悩みを相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、課題解決に向けて関係機関へ適切に繋げるなど、連携を重視した総合的な支援を実施します。経済的な支援を必要とする家庭に対しては、就学援助制度等の確実な周知や手続きの負担軽減を図り、支援を充実します。

■特別支援学級及び通級指導教室の設置状況(令和8年度当初)

	対象	学校名
特別支援学級	知的	大井小、福岡小、駒西小、上野台小、鶴ヶ丘小、西小、東原小、西原小、元福小、亀久保小、三角小、さぎの森小 大井中、福岡中、葦原中、花の木中、大井西中、大井東中
	自閉・情緒	大井小、福岡小、駒西小、上野台小、鶴ヶ丘小、西小、東原小、西原小、元福小、亀久保小、三角小、さぎの森小 大井中、福岡中、葦原中、花の木中、大井西中、大井東中
	病弱・身体虚弱	鶴ヶ丘小
通級指導教室	発達・情緒	駒西小、上野台小、西小、東原小、大井中、福岡中、花の木中
	難聴・言語	福岡小、亀久保小

(2) 人権を尊重した教育の推進

発達段階に応じて人権問題の正しい理解と人権感覚を身に付けることで、自分自身の大切さとともに他者の尊重を理解できる児童生徒の育成を目指します。また、男女共同参画、LGBTQ、障がいのある人、外国籍の人々に対する偏見や差別、同和問題(部落差別)、インターネットによる人権侵害、拉致問題など、多様な人権課題について学校教育のみならず専門機関と連携しながら、児童生徒の

^{*1} **社会的包摂**:ソーシャルインクルージョンといい、社会的に弱い立場にある人々を含め、誰一人取り残されず、全ての人が地域社会に参加し、共に生きていくことを目指す考え方。

人権意識の涵養に取り組みます。誰一人取り残されることのない、すべての個人が幸せや生きがいを感じられる共生社会の実現に取り組みます。

(3) 道徳教育の推進

各校における道徳教育推進教師を中心に、道徳科を要とし、全教育活動と一体化した道徳教育を展開します。児童生徒が多面的・多角的な視点から自らの課題として「考え、議論する道徳」の授業を推進するとともに、「彩の国の道徳」や家庭用教材の活用を通じて、学校・家庭・地域が連携した道徳教育の充実を図ります。

(4) 体験活動の充実

人間的成長に不可欠な豊かな体験の機会を確保し、持続可能な社会の担い手となる力を育成します。公共の精神に基づき個人と社会との関係を適切に理解させるとともに、主体的に社会課題に対応し、未来社会を創造できる力の育成を図ります。また、企業・福祉施設での体験など、発達段階に応じた勤労観・職業観の形成に向けた活動やその振り返りを通じて定着を促進します。さらに、文化芸術活動への参加を促し、芸術体験の充実を図ります。

(5) 生徒指導の充実

「児童の権利に関する条約」に示された4つの原則(差別の禁止、子どもの最善の利益、生命・生存及び発達に対する権利、子どもの意見の尊重)に基づく生徒指導を実践します。一人一人の個性や可能性に着目し、社会的資質・能力の発達を支えると同時に、幸福追求と社会に受容される自己実現を目指す取組を推進します。また、生徒指導の4つの視点(①自己存在感の感受 ②共感的な人間関係の育成 ③自己決定の場の提供 ④安全・安心な風土の醸成)を指導の中に内在化させ、教科指導と一体化した授業づくりを進めます。

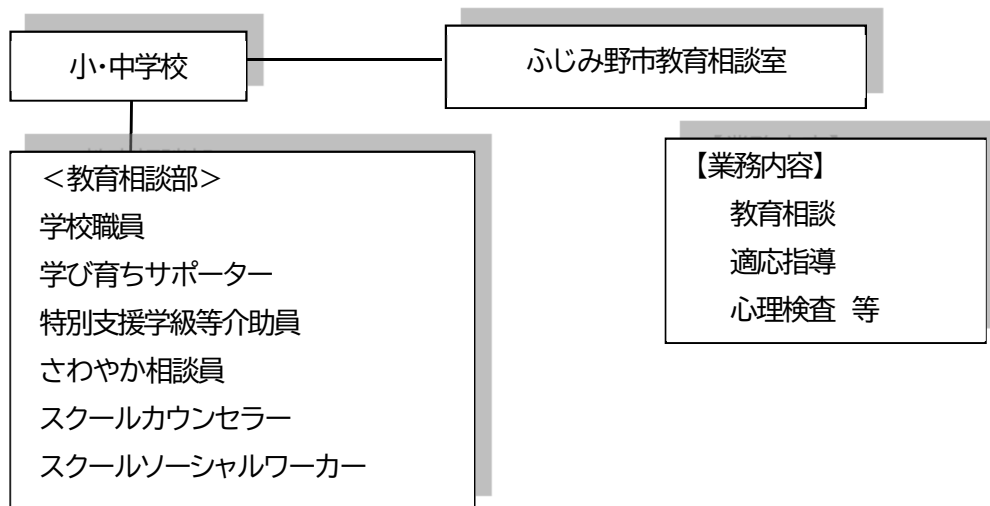
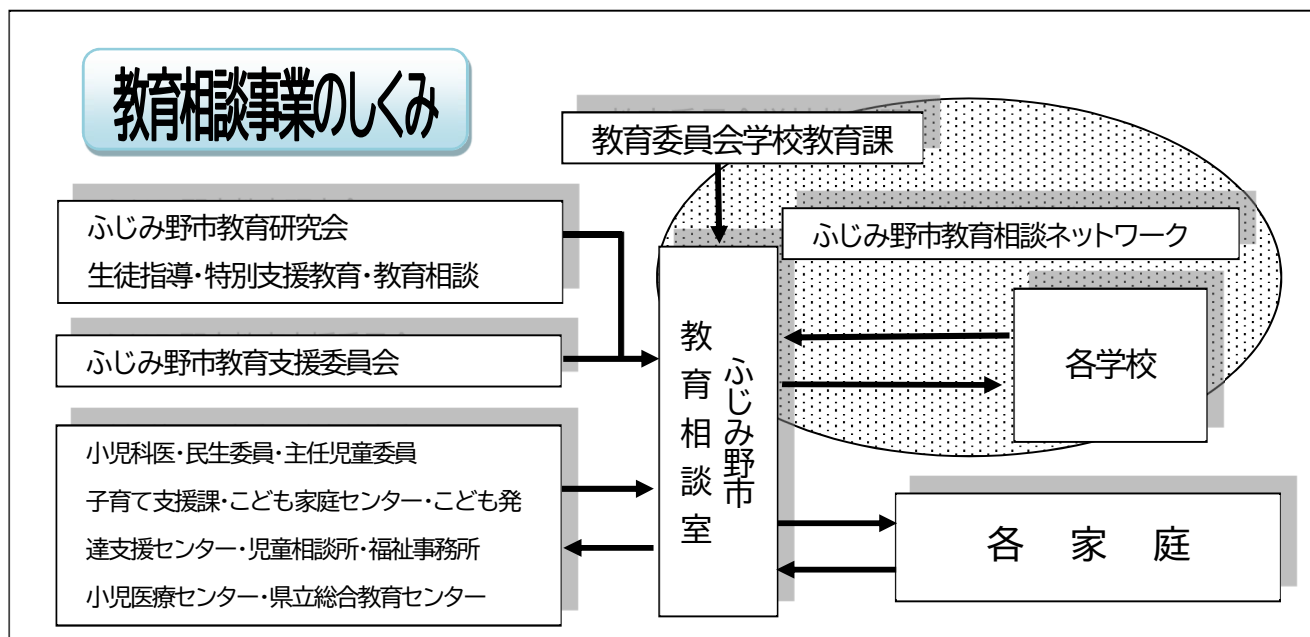
喫緊の諸課題に対応するため、「チームとしての学校」による校内外の連携・協働を基盤とした生徒指導体制の構築・充実を図ります。多様な背景を持つ児童生徒に対してはアセスメントに基づく支援を行うとともに、家庭や地域との連携によるいじめの早期発見や予防にも取り組み、いじめに苦しむ児童生徒の見逃し0(ゼロ)をさらに徹底します。また、地域協働学校を中心とした関係機関との連携により、温かな社会づくりの推進を図ります。加えて、自殺対策基本法や自殺総合対策大綱に則った自殺予防教育や、思春期の不安・ストレスへの対応に向けて関係機関と連携したメンタルヘルス教育の充実を目指します。

(6) 教育相談の充実

一人一人の児童生徒の声にしっかりと耳を傾け、それぞれの思いに寄り添い、支援につながる体制を構築するため、児童生徒の個別性・多様性・複雑性に対応した教育相談の充実を図るとともに、学校内を中心に居場所づくり(学習室等)の整備とその活用促進に努めます。また、発達支持的・課題予防的な視点に基づいた教育活動の充実を図り、各学校と教育相談室の連携強化を通じて不登校に

悩む児童生徒が安心して過ごせる体制を構築します。適応指導教室では、個別指導に加えて集団活動の時間を設定し、不登校の児童生徒に対する学校復帰に向けた支援の充実を図ります。

スクリーニング会議の活用により、配慮を要する児童生徒に対して必要な支援体制を整えるほか、校長・教頭・教育相談主任・担任からなる校内の対策チームと子育て支援課、こども家庭センター、こども発達支援センター、児童相談所等との連携による多機関協働の支援体制を確立します。さらに、教職員の教育相談研修を充実させ、生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援の推進を図ります。



■市費会計年度任用職員の職種

職種	職務内容
① 学び育ちサポーター	発達に課題のある児童生徒の生活面及び学習面の支援や補助を行います。 学校生活にうまく適応できない児童生徒の支援の補助を行い

	ます。 いじめの防止、解消に向けた児童生徒への支援を行います。
② 少人数指導支援員	少人数指導のための支援や一人一人の子供に合わせた学習支援を行います。
③ 中学校教科補充講師	生徒の学習活動に関する指導と支援を行います。
④ 特別支援学級等介助員	特別支援学級に在籍する児童生徒の支援や援助を行います。
⑤ 教員業務支援員	学級・学年事務の補助や授業準備の補助等、教員業務の補助を行います。
⑥ 医療的ケア看護職員	医療的ケアを必要とする児童生徒に対する医療行為等を行います。
⑦ さわやか相談員	各中学校のさわやか相談室に在籍し、児童生徒及び保護者への相談・支援を行います。
⑧ 学校マネジメント支援員	小中学校の教頭が行う業務の補助を行います。

(7) 学校保健・体育、食育の推進

児童生徒が生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフを実現できるよう、学校における授業や体育的行事、部活動などの体育的活動の充実を図るとともに、地域のスポーツ活動とも連携しながら運動習慣の定着を促進します。また、命の大切さや性教育・健康教育に関する正しい知識や理解を深め、適切な態度と行動が取れるよう、発達段階を踏まえて学校全体で計画的に取り組めます。

部活動の運営については、文化・スポーツ振興課、市スポーツ協会、市文化協会、大学などの関係団体と連携・協働し、学校運動部や文化部のリソースと地域の資源を相互に活用できるよう協働体制の構築に努めます。部活動と地域クラブの在り方について継続的に検討を重ね、持続可能な運営体制の整備と、生涯にわたるスポーツ・文化芸術活動の活性化を推進します。

食育にあたっては、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、学校・家庭・地域の三者が協働して啓発を推進します。その一環として、地場産食材を活用し、食を通じて地域の気候風土を感じられる魅力ある学校給食を提供するほか、食への関心を高めるため、行事食やリクエスト給食などを実施します。

また、食物アレルギーのある児童生徒が、自分の力でアレルギーを取り除き食事を楽しめるよう、9年間の義務教育を通して、保護者、学校と連携を取りながら成長段階に応じた指導を行います。

① 学校給食

学校給食法に基づき、教育の一環として、市内小中学校に完全給食を実施しています。運営については、調理等の業務を一括処理するセンター方式で行っており、市内にある2つの学校給食センターでは、いずれの施設もドライシステムにより調理を行っています。

適正かつ円滑な運営を図るため、学校給食センター運営審議会や学校給食献立検討会を設置しています。

② 食育の推進

郷土への愛着や生産者への理解を深めるため、地場農産物を積極的に学校給食へ取り入れています。味のベースには天然のだしを使用し、味覚の幅を広げるとともに、塩味を抑えることで生活習慣病予防に繋げる等の工夫を行っています。また、献立や使用食材にちなんだ内容の原稿を給食時間の校内放送用に提供しているほか、食育だより・地場産だよりの発行、給食センターの栄養教諭による食育の授業を市内小中学校で実施しています。

③ 食物アレルギー対応

アレルギー資料の提供及び牛乳からお茶への代替に加え、卵と乳を除去した食物アレルギー対応食(卵乳除去食)を平成28年4月から提供しています。対応食の提供は原則小学生までで、中学生は通常の給食からアレルゲンを取り除く食育指導を実施しています。食物アレルギー対応食の調理は、なの花学校給食センターの食物アレルギー対応食専用調理室で行い、専用のランチボックスを使用して児童の元に届けます。

(8) 読書活動の推進

児童生徒の読書活動を学校・家庭・地域が一体となって推進するため、市立図書館の司書や学校図書館支援員、学校図書活用促進員が積極的に関わり、家読(うちどく)支援や小中学校の図書委員との連携事業を展開します。学校図書館には、引き続き図書館支援員を配置するとともに、市立図書館との連携を強化し、読書環境の充実を図ります。

小中学校図書館と市立図書館とのシステム連携を進めることで、教育活動における図書資料の有効活用を推進します。特に、中学校の授業や教育活動における図書活用の支援や、図書委員との協働による市立図書館との連携事業を充実させます。さらに、学校図書館を地域に開かれた施設として活用し、地域住民との交流や学びの場としての機能の充実を図ります。

施策3 変化に柔軟に対応できる教育環境の充実

(1) 小中連携・小中一貫教育の推進

幼稚園・保育所・小学校の連携を密に行い、学校間の接続期における不適応などの教育課題に対応しながら、児童に必要な基本的資質を身につけ、創造的な個性の伸長を目指します。義務教育課程の小中9年間の連続性や一貫性を重視した教育の展開により、学習意欲の向上と小学校から中学校への円滑な接続を推進します。あわせて、市内の人口動向を踏まえ学校規模の適正化を図るため、小中一貫教育による教育課程特例校や9年制の義務教育学校について、研究・検討を進めます。

(2) 学校の組織運営の改善

学校運営協議会と地域学校協働活動との連携・協働により、学校運営におけるガバナンスと公開性の向上を図ります。教職員の長時間勤務の縮減によって児童生徒と向き合う時間を確保し、教育の質の向上を目指します。さらに、校長を中心とした学校組織のマネジメント力を強化し、学校およ

び教職員が担う業務の適正化を推進します。学校運営や教育指導に外部人材や専門スタッフなど多様な人材が携われる体制の整備により、柔軟で開かれた学校の実現を目指します。

(3) 教職員の資質・能力の向上

学校教育の質と教職員のモラルの維持・向上を図るとともに、指導力と使命感を兼ね備えた教職員の育成に努めます。教職員の年齢構成を踏まえ、ベテラン教員の経験に基づくスキルと若手教員の ICT など新しいスキルの融合を図り、新時代に求められる指導の創出に取り組みます。あわせて、初任者研修をはじめ、年次研修、臨時的任用教職員研修、学校指導訪問などを通じて、教職員の資質・能力の継続的な向上を推進します。

新しい時代の教育に向けた持続可能な学校運営・教育活動を目指し、学校における働き方改革を推進します。単に業務の効率化を図るのではなく、教職員が児童生徒一人一人と向き合う時間を確保して教育活動の充実を図るなど、子供を取り残さない働き方改革を実現します。

加えて、会計年度任用職員の効果的な活用や校務支援環境の充実を通じて、教職員の業務効率化と教育活動の質の向上を図ります。

(4) 質の高い教育を支えるICT環境の充実

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、これまでの実践と ICT を最適に組み合わせ、一人一台端末を効果的に活用しながら教育の質の向上につなげることができるよう、ICT 環境の整備を進めます。

国の進める GIGA スクール構想の第2期に応じて、予備機を含めた最新のタブレット端末を計画的に更新します。多数の児童生徒が高頻度でタブレット端末を利活用する場合にも、ネットワークを原因とする支障が生じない ICT 環境を構築します。

(5) 学校安全の推進

児童生徒が生き生きと活動し、安心して学べる教育環境の整備・充実を図るとともに、安全確保に向けた取組を推進します。児童生徒が自ら安全に行動し、他者や社会の安全に貢献できるよう、家庭・地域・関係機関等と連携・協働しながら学校安全教育の充実を図ります。

教職員の不祥事根絶に向け、学校運営協議会で学校における不祥事防止の取組や倫理確立委員会の実施報告を行い、協議をとおして工夫・改善を図ります。防犯や盗撮等の防止を目的として、学校運営協議会委員、保護者や地域の方々が校内を巡回するなど、地域協働学校の機能を活かした学校・家庭・地域との連携により、子供たちの安心・安全を守る環境を築きます。

学校への不審者侵入対策として、各学校における危機管理マニュアルの教職員への周知と実践的訓練を推進し、児童生徒の危機回避能力の育成を目指します。さらに、地震・風水害・火災等の災害時避難訓練に加えて、全国瞬時警報システム(Jアラート)に対応した新たな訓練を展開します。

学校関係職員の採用にあたっては、性犯罪歴等について証明を求める仕組み(日本版 DBS)の活用を図り、児童生徒が安心して過ごせる教育環境の確保に努めます。

(6) 学校施設の計画的整備の推進

これからの新しい時代の学びに対応できる学び舎として、児童生徒数の将来動向を踏まえながら施設整備や更新を進めるとともに、学校が地域の活性化やまちづくりの核となるよう、地域との協力や部局横断的な行政との連携を図ります。

学校施設の多機能化や機能の充実を目指しながら、学校校舎や体育館などの計画的な整備や維持改修にも取り組んでいきます。

(7) 学校給食センターの管理・運営の充実

安全・安心な学校給食を継続的に提供するため、衛生管理の徹底、施設や調理器具等の整備に努め、給食業務の事故防止を図ります。

PFI 事業を展開しているなの花学校給食センターは、民間事業者のノウハウを活用することにより、効果的でより衛生的な運営を維持しています。運営事業者に対する継続的なモニタリングを実施するとともに、PFI事業運営の期間が満了を迎える令和13年度以降の運営手法、管理のあり方などについて、調査・研究していきます。

市直営のあおぞら学校給食センターは、平成17年9月から稼働していることから、施設・設備の維持・管理を計画的に実施し、将来的な視野に立った運営方法等を検討していきます。

① なの花学校給食センターの概要

(提供食数は令和8年7月1日現在)

施設名	なの花学校給食センター	
所在地	ふじみ野市中福岡122-1	
開設	平成28年4月	
建物面積	3,209.2㎡	
提供食数	5,102食(1日)	

② あおぞら学校給食センターの概要

(提供食数は令和8年7月1日現在)

施設名	あおぞら学校給食センター	
所在地	ふじみ野市西鶴ヶ岡1769-1	
開設	平成17年9月	
建物面積	2,248.21㎡	
提供食数	4,071食(1日)	

基本方針2 絆を深め、地域社会との協働による「共育」の推進

施策4 地域との連携・協働による教育の推進

(1) 家庭・地域と連携した教育の充実

「社会に開かれた学校」の実現のため、地域全体で子供の学びや育ちを支える地域協働学校の推進を図り、学校から地域への情報発信の強化や、保護者や地域住民、企業、高校生や大学生等の学校支援活動への参画を促進します。

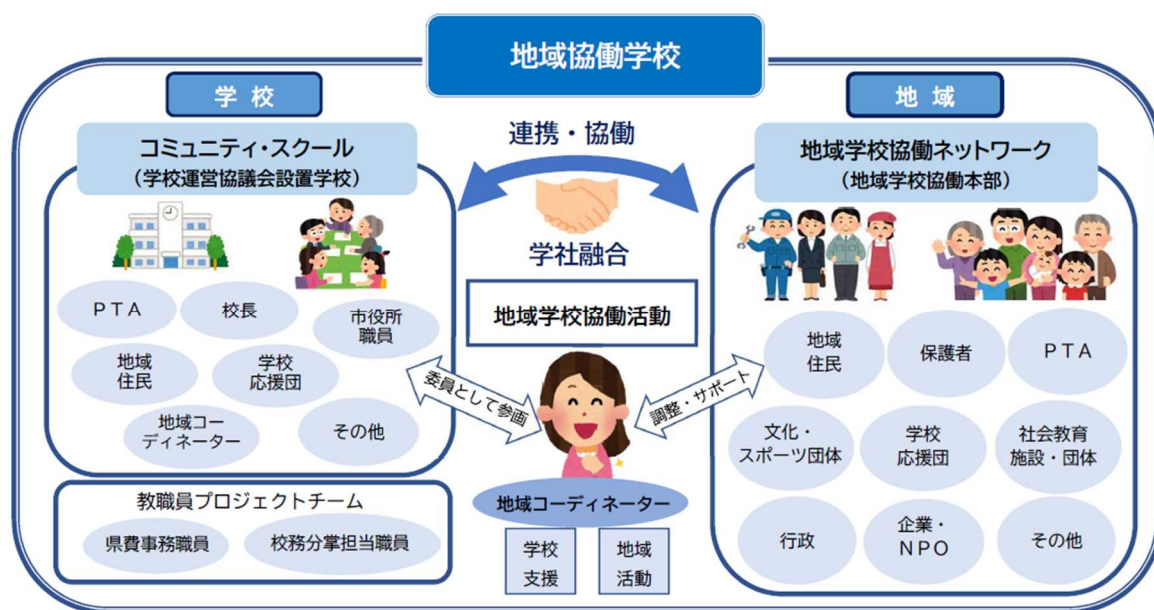
市内全小中学校に設置されている学校運営協議会での活発な議論を通して、学校・家庭・地域が、目指す子供像や地域像を共有し、学校運営の透明性を高めるとともに、地域の教育力を活用して学校運営のガバナンスを高めます。

(2) 地域協働学校^{*1}の推進

学校教育と社会教育の一体的推進を図る「学社融合」の考え方のもと、コミュニティ・スクールと地域学校協働ネットワークの連携・協働をより一体的に進めます。

市内全小中学校における学校運営協議会では、熟議を通じて、目指す子供像・地域像の共有を図り、学校運営の透明性や地域の教育力をさらに高めます。地域コーディネーターも学校運営協議会に参画し、共通の理念のもと地域学校協働活動を一体的に推進します。

また、校内に地域コーディネーターの活動拠点を確保することで、協働活動を推進しやすい環境整備を図ります。各課が保有する人材情報をネットワーク化するとともに、民間団体等との連携を通じて、地域学校協働ネットワークの充実と地域人材の発掘・育成を実現していきます。



^{*1} 地域協働学校: 学校教育と社会教育の一体的な推進を図る「学社融合」の考えのもと、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールと、地域学校協働ネットワークとの両輪で、学校と地域の連携・協働を図り、地域学校協働活動を推進する、ふじみ野市独自の取組。

(3) 新しい学びの拠点としての学校施設の活用促進

学校が「地域の核」として、地域住民のふれあいや学びの場としての役割を果たすよう、環境整備を推進します。地域住民の講座やサークル活動の場として学校施設を効果的に活用し、「新たな学び」の創造や地域と共に育む教育の実現を目指します。また、子供たちが地域の歴史や文化を学ぶ機会を増やすため、文化財を学習活動に活用し、校内に文化財展示室を設置する取組を進めます。学校が地域と関わり合いながら、教育と地域社会の発展を支える拠点としての役割を果たしていきます。

施策5 子供と家庭をあたたかく包みこむ地域づくりの推進

(1) 家庭教育事業の充実

子育て中の保護者を対象に、家庭教育に関する学習の推進を図ります。保護者が学び合い、教養を高めることで、それを家庭に還元し、子供の健全な発達につなげるため、家庭教育学級の開催を積極的に支援します。

また、各学校におけるPTA活動などを通じて保護者が学校運営に参画し、教育活動への理解や社会貢献の意義について認識を深めることで、家庭の教育力の向上を目指すとともに、保護者負担にも配慮した持続可能な運営の支援を進めます。

(2) 放課後を活用した体験活動の充実

小学校全校で放課後子ども教室を開校し、地域ボランティアや市内大学等の連携・協働のもと、放課後における工作やスポーツ活動等の体験活動の場と異年齢交流の場を提供し、より多くの児童が参加できるよう放課後児童クラブとの交流を行います。また、学校間の取組の交流、指導員研修を通して体験活動の充実を図ります。

地域住民や大学生など、多様な人々が関わる体験学習事業の開催や図書館のティーンコーナーの充実など、子供たちが人間関係や視野を広げる機会となるよう、家庭や学校以外の居場所づくりに取り組みます。

「放課後子ども教室」

・実績(令和7年度)

	開設校	開設日	実施曜日	実施日数	登録人数	延べ登録人数 (開設日～R7)
1	西原小学校	平成21年10月2日	毎週金曜	30日	25人	770人
2	さぎの森小学校	平成23年3月14日	毎週火曜	31日	36人	651人
3	駒西小学校	平成23年11月30日	毎週木曜	30日	40人	1,449人
4	三角小学校	平成23年12月2日	毎週月曜	29日	33人	1,462人

5	東原小学校	平成24年10月22日	毎週水曜	27日	57人	1,828人
6	元福小学校	平成24年10月25日	毎週水曜	32日	31人	860人
7	西小学校	平成25年10月22日	毎週木曜	34日	29人	1,243人
8	大井小学校	平成25年10月28日	毎週月曜	25日	39人	742人
9	亀久保小学校	平成26年10月20日	毎週火曜	33日	28人	1,451人
10	福岡小学校	平成26年10月30日	毎週木曜	32日	46人	1,338人
11	上野台小学校	平成27年10月19日	毎週月曜	28日	50人	1,732人
12	鶴ヶ丘小学校	平成27年10月19日	毎週水曜	32日	56人	1,506人
合 計				363日	470人	15,032人

・活動の様子



ミニ運動会



夏祭り



クリスマス工作(スノードーム)



サイエンスショー

基本方針3 協働による持続可能な地域づくりのための学びの推進

施策6 生涯にわたる学びの機会と誰もが

地域や社会で活躍できる「場」の創出

(1) 地域課題の解決と持続可能な地域づくりの基盤を支える社会教育の推進

地域学校協働活動ネットワークを活用し、市民や団体・地域等との協働により、市民の興味関心から地域課題の学習、実践につながるような教育プログラムづくりを進めます。

事業の参加者同士の学び合いを大切にしながら交流を促進し、事業の企画段階から地域団体や市民と職員が一緒に計画・立案するなど、地域活動への参加、参画を促進します。また、共生社会や社会的包摂の実現に向けた学習に取り組み、多様な人々の学習の機会・場づくりを推進し、活躍の場を広げます。

さらに、教育委員会事務局に社会教育主事の配置を充実させ、市の他部署やふじみ野ステラ・イースト及びふじみ野ステラ・ウェスト等の文化施設に配置されている社会教育士や民間団体と連携しながら、社会教育事業を推進します。市民の持続可能な学びを支援していくために、社会教育担当部署をはじめ、教職員や市長部局の行政職員等の社会教育主事任用資格の取得を推進し、社会教育の専門職員を育成するとともに、連携の充実を図ります。

(2) 生涯学習・社会教育活動の奨励と支援

市民の自発的・組織的な学習活動や教育活動を奨励し、より参加しやすい環境づくりを行うことで、生涯を通じて学び続ける学習者の育成や、主体的に社会とつながろうとする意識の醸成を目指します。その一環として、障がい者や外国籍市民等に向けた学習機会の提供をさらに推進するとともに、社会的包摂の視点を持って、講座や体験等の開催手法を工夫します。また、身近で気軽に学びを得られる環境を提供するため、社会教育施設に留まらず、一般の公共施設や民間施設、学校施設など多様な場で講座や体験の実施を進め、夜間講座やオンライン講座、電子図書館の運用なども取り入れ、誰もが参加しやすい仕組みを充実させます。

さらに、連携協定を締結した大学や民間企業と協力して、人生100年時代を見据えた教育の機会を提供します。社会人の学び直しとしてのリカレント教育のほか、リスキリングの視点を踏まえ、高度化する企業課題やニーズに対し、自らの知識や技能をアップデートできるよう支援します。

加えて、市民の生涯学習や社会教育活動を支援するため、図書館や資料館でのレファレンス業務を強化するとともに、文化施設や市民活動支援センターなどと連携して学習者への相談支援体制を強化し、地域における学びの拠点を充実させていきます。

(3) 学びの成果を還元し共に活躍する仕組みの充実

講座等の企画段階から、職員と市民が協働して、参加者が地域活動等で成果を活かすこと(還元)ができるようなプログラムを作成し、地域学校協働活動や地域で活躍する人材の育成を進めます。人材情報にアクセスしやすいよう、情報のデジタル化や相談窓口を充実し、人材とニーズのマッチングを進めます。

(4) 地域の歴史文化の活用と継承

「ふじみ野市文化財保存活用地域計画」を作成し、市民や地域の方々等と連携しながら文化財の保存・活用を進め、次世代への文化財の継承と市の新たな魅力の創造につなげます。また、祭りや伝統芸能等の地域行事を大人から子供へ、以前から暮らしている地元の住民から新しく移り住んだ住民へ継承していくことで、地域の結びつきを強めていきます。地域の歴史や文化を学び、郷土の伝統と文化への誇り、郷土愛を育むとともに、異なる地域や国々の伝統と文化を尊重する態度を養うことで、温もりのある人と地域を育てていきます。

さらに、旧上福岡歴史民俗資料館と旧大井郷土資料館を統合し、旧大井図書館・旧大井郷土資料館の建物をリニューアルして、令和8年9月にふじみ野市立博物館が開館しました。今後は、ふじみ野市の歴史や文化を総合的に学べる新たな博物館施設として活用していきます。併せて、市の歴史と文化を特徴づける新河岸川舟運と川越街道を学ぶ拠点として、福田屋(福岡河岸記念館)や旧大井村役場等の歴史的建物を保存・活用していきます。

福岡河岸記念館の公開、管理運営事業

新河岸川舟運で栄えた回漕問屋(船問屋)「福田屋」に残る明治時代の建物を、市指定文化財及び埼玉県景観重要建造物として永く保存していくために、平成29年度に三階建て離れと管理棟の改修工事を行いました。今年度も通常の公開と三階建て離れの二階と三階、主屋二階の特別公開を実施します。また、特別講演として古典芸能の講演や子供・大人対象の体験学習などを実施していく予定です。



令和7年1月
フォト・絵画コンテスト展示風景

無形民俗文化財囃子の保存

市内には、大井はやし、大井旭はやし、苗間はやし、亀久保はやしなどの民俗芸能保持団体が保存会として活動しています。おはやしは、地域の伝統、文化、歴史、特色を示す貴重な無形民俗文化財であり、このような団体がおはやしを続けていくための活動経費の一部について、支援するとともに、後世に伝えるための方策について検討していきます。



亀久保はやし

権現山古墳群の管理及び一般公開

県内最古に属する古墳群である権現山古墳群史跡の森を気持ちよく散策していただくため、定期清掃や草刈りのほか、随時、折れ枝の剪定等を行っています。

令和7年度は、園路脇の敷木が経年劣化により破損しているため、埼玉県補助をうけて修繕を実施しました。また、高木の剪定を行いました。

また、毎年、小学生向けに「夏休み権現山探検」を開催し、自然観察や地層などをテーマに学習講座を行っています。一般向けには年に1回権現山観察会を開催しています。



令和7年8月5日 権現山古墳群の見学
(権現山探検「葉の標本づくり」)

収蔵資料整理事業

ふじみ野市の歴史や生活の移り変わりなどを明らかにし、後世に伝えていくために、継続的に資料を収集し、永く保存していきます。収蔵資料の増加に対応していくため、従来の紙ベースによる台帳のデータベース化を進めることで、情報の修正等を簡易にし、迅速な検索と活用が図れるよう、資料管理の能率化を目指していきます。

埋蔵文化財調査事業



長宮遺跡第6・7地点本調査
(縄文時代住居跡)

市内には、約2万7千年前の旧石器時代から縄文・弥生・古墳・奈良・平安時代・中近世の遺跡が45カ所存在します。各種開発事業に対処して、遺跡の有無を確認する試掘調査を令和7年度には40件行いました。さらに先人の残した生活の痕跡である貴重な遺跡について保存措置を協議し、保存が不可能な場合には、記録保存の発掘調査(本調査)を行います。令和7年度は5件実施しました。



令和7年11月29日
ホウキモロコシでつくるミニほうき
(福岡河岸記念館)

福岡河岸記念館、旧大井村役場の活用 (地方創生拠点整備交付金事業)

文化財建物の保存と安全な活用ができるように、平成28～29年度にかけて、市指定文化財「回漕問屋福田屋」(福岡河岸記念館)及び国登録有形文化財「旧大井村役場」の修繕及び構造強化工事を行いました。文化財活用の一環として、両建物を会場にした体験学習(はたおり・水引・ほうきづくり)等を企画し、令和7年度は、体験学習を7回実施しました。

展示事業

旧上福岡歴史民俗資料館と旧大井郷土資料館は、それぞれ地域の歴史・民俗を紹介する資料館として、数多くの郷土の文化遺産を収集・保存するとともに、地域の特性のある資料を展示公開してきましたが、両館を統合し、令和8年9月にふじみ野市立博物館として開館しました。常設展示室では、「陸のみち」「川のみち」をテーマの中心とし、ふじみ野市の原始から近現代までの歴史を紹介しています。また、今後は、常設展示のほかに、これまで収集・調査した様々な資料を公開する機会としてテーマや期間を決めた展示会も随時開催する予定です。



企画展「日本の藍染め世界の染織2」
(旧上福岡歴史民俗資料館)



企画展「戦争の記憶—火工廠建設と戦時の手紙—」
(旧上福岡歴史民俗資料館)

教育普及事業

市域及びその周辺地域の歴史・民俗・考古などの文化財に関する学習講座・古文書講座・体験学習などを定期的に開催し、郷土を学ぶ機会とします。

さらに、「企画展示&体験学習 昔のくらしと昔の学校」を開催し、小学校学習指導要領にもとづき、昔のくらしや道具について体験学習を行い、学校教育との連携を積極的に推進していきます。



令和8年2月
小学校3年生社会科体験学習
「昔くらしと昔の学校」
(旧上福岡歴史民俗資料館)



令和7年7月
「資料の拓本で切り絵をつくろう」
(旧上福岡歴史民俗資料館)

やさしい日本語でめぐるまちさんぽツアー事業

令和4年度に、ふじみ野市の歴史や文化財、観光などについて、より多くの人に伝えるため、在住外国人や子供、障がい者にも伝わりやすい「やさしい日本語」でまちさんぽを行うツアーガイド養成講座を実施しました。令和7年度はまちさんぽツアー2回、研修会1回、にほんごカフェ6回に加えて、3年ぶり2回目のツアーガイド養成講座を開催しました。また東京都多文化共生ポータルサイトにて、やさしい日本語活用事例として、当事業が紹介されました。



令和8年4月26日には「春の新河岸川を歩いてよもぎもちをつくろう」を実施し、在住外国人計18人の参加がありました。なお、令和8年度も年2回のまちさんぽツアー、月1回程度のにほんごカフェの企画・運営を予定しています。

文化財展示室

これまで収集・保存してきた貴重な文化財である歴史資料を活用して、ふじみ野市、学校、地域住民が協働しながら、郷土ふじみ野を理解し郷土を愛する市民の育成を図るため、市内の小中学校に文化財展示室を設置し活用する事業を平成28年度より実施してきました。設置後は児童や教師が広く学習の場として活用するだけでなく、将来的には一般市民への公開・活用も視野に進めています。

令和5年度までに、さぎの森小、東台小、西原小、福岡中、駒西小の設置が完了しました。また、令和5年度秋から開始したさぎの森小の展示室の復旧は、ボランティアと協力し、令和6年5月末に完成しました。



さぎの森小学校文化財展示室 復旧完成状況



令和8年2月 小3体験学習での利用
西原小学校文化財展示室



駒西小学校文化財展示室 農時暦コーナー



福岡中学校文化財展示コーナー

ふじみ野市の指定・登録文化財一覧

1 埼玉県指定文化財

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
1	武蔵野台地北部の畑作用具	大井郷土資料館	平成6年3月16日	民俗文化財	有形民俗	434点
2	権 現 山 古 墳 群	滝一丁目5-1他	平成14年3月22日	記念物	史跡	前期古墳 6基 出土土師器7点

2 ふじみ野市指定文化財

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
1	権 現 山	滝一丁目	昭和38年9月3日	記念物	史跡	1ヶ所
2	阿 弥 陀 一 尊 図 像 板 碑	川崎二丁目 阿弥陀堂	昭和38年9月3日	有形文化財	考古資料	鎌倉時代 1基
3	絵 馬	長宮二丁目 長宮氷川神社	昭和45年5月1日	民俗文化財	有形民俗	貞享～元禄期 3点
4	三 福 学 校 印	上福岡歴史民俗資料館	昭和45年5月20日	有形文化財	歴史資料	明治11(1878)年 2点
5	釈 迦 如 来 像	中丸一丁目 釈迦堂	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	江戸初期 1躯
6	薬 師 如 来 像	仲三丁目 薬王寺	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	鎌倉期か 1躯
7	阿 弥 陀 如 来 像	駒林866 安楽寺	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	桃山期 1躯
8	地 蔵 尊 坐 像	駒林257 地藏堂	昭和47年6月1日	有形文化財	彫刻	室町期 1躯
9	鉄 造 阿 弥 陀 如 来 像	滝三丁目 西養寺	昭和48年4月1日	有形文化財	彫刻	江戸初期 1躯
10	川崎遺跡古墳時代住居跡	川崎176	昭和50年5月1日	記念物	史跡	古墳前期 1ヶ所
11	市 内 最 古 の 板 碑	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	考古資料	正元元(1259)年 1基
12	柳 川 家 文 書	個人宅	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	近世・近代1102点
13	星 野 家 文 書	個人宅	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	近世・近代505点
14	吉 野 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	近世・近代456点
15	早 船 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	近世・近代339点
16	行 政 文 書	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	有形文化財	古文書	1191点
17	船 大 工 道 具 一 式	上福岡歴史民俗資料館	昭和52年4月1日	民俗文化財	有形民俗	83点
18	大 杉 神 社 奉 納 額	福岡885 大杉神社	昭和52年4月1日	民俗文化財	有形民俗	1点
19	吉 良 氏 印 判 状 北条長綱名主職補任状	個人宅	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	戦国時代 2点
20	北 条 氏 定 書 北 条 氏 印 判 状	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	戦国時代 5点
21	太 政 官 布 告 の 高 札	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	古文書	慶応4(1867)年 4点

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
22	板 石 塔 婆 弘安4年11月銘	大井 954 徳性寺	昭和53年4月1日	有形文化財	考古資料	弘安4(1281)年 1基
23	板 石 塔 婆 天文 23 年9月4日銘	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	考古資料	天文23(1554)年 1基
24	旭 覺 の 額	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	歴史資料	明治19(1886)年 1点
25	鬼 瓦	大井郷土資料館	昭和53年4月1日	有形文化財	歴史資料	1点
26	絵 馬	亀久保二丁目 亀久保神明神社	昭和53年4月1日	有形文化財	絵画	宝暦8(1758)年 他 3点
27	苗 間 は や し	苗間囃子保存会	昭和53年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
28	大 井 は や し	大井上組囃子保存会	昭和53年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
29	し だ れ 桜	亀久保三丁目 地藏院	昭和53年4月1日	記念物	天然記念物	地藏院境内1点
30	け や き	苗間 371-1 苗間神明神社	昭和53年4月1日	記念物	天然記念物	神明神社境内1点
31	大 井 旭 は や し	大井旭囃子保存会	昭和54年4月1日	民俗文化財	無形民俗	
32	注 口 土 器	上福岡歴史民俗資料館	昭和62年3月24日	有形文化財	考古資料	縄文中期 1点
33	は そう 形 須 恵 器	上福岡歴史民俗資料館	昭和62年3月24日	有形文化財	考古資料	古墳中期 1点
34	武州高麗之郡下仙波之内 大井郷田畑水帳 武蔵国高麗郡下仙波之内 大井郷水帳一、二、三 地 租 改 正 用 留	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	古文書	江戸中期 5点
35	十 三 仏 掛 軸	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	歴史資料	江戸時代 2幅
36	阿 弥 陀 如 来 立 像 両 脇 侍	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	歴史資料	江戸時代 3軀
37	亀居遺跡出土深鉢形土器	大井郷土資料館	昭和62年4月1日	有形文化財	考古資料	縄文中期前半 3点
38	回 漕 問 屋 福 田 屋	福岡河岸記念館	平成元年11月2日	有形文化財	建造物	明治初期～中期 4棟
39	福 田 屋 文 書	上福岡歴史民俗資料館	平成4年2月21日	有形文化財	古文書	近世・近代 2684 点
40	回漕問屋福田屋の帳場道具一式	上福岡歴史民俗資料館 福岡河岸記念館	平成4年2月21日	民俗文化財	有形民俗	104 点
41	福 岡 村 戸 長 役 場 資 料	上福岡歴史民俗資料館	平成4年2月21日	有形文化財	歴史資料	明治15～22 (1882～1889)年 3点
42	苗 間 神 明 神 社 の 常 夜 燈	苗間 371-1 苗間神明神社	平成6年9月1日	有形文化財	建造物	明治初期 1基
43	大 井 宿 本 陣 文 書	大井郷土資料館	平成6年9月1日	有形文化財	古文書	近世・近代 2311 点
44	角 の 常 夜 燈	亀久保四丁目	平成6年9月1日	民俗文化財	有形民俗	享和2(1802)年 1基

	名 称	所在地	指定年月日	種別	種類	備考
45	元 禄 七 年 奉 納 の 鰐 口	上福岡歴史民俗資料館	平成10年7月23日	有形文化財	歴史資料	元禄7(1694)年 1点
46	向 か い 天 狗 図 絵 馬	長宮二丁目 長宮氷川神社	平成13年12月25日	民俗文化財	有形民俗	寛永期 (1624~1643年) 1面
47	三角の浅間様と富士講	亀久保1748-3 三角浅間神社	平成15年11月26日	民俗文化財	有形・無形	
48	平 野 家 住 宅	個人宅	平成15年11月26日	有形文化財	建造物	明治期1棟
49	浄 禅 寺 跡 遺 跡 出 土 の 礫 石 経 (れきせききょう)	ふじみ野市教育委員会	平成15年11月26日	有形文化財	考古資料	元禄9~15 (1696~1702)年 1括
50	竹 親 庭 (三 上 家 庭 園)	個人宅	平成15年11月26日	記念物	名勝	明治中期
51	市澤の観音講行事用具	大井郷土資料館	平成19年10月26日	民俗文化財	有形民俗	江戸~昭和48点
52	亀 久 保 は や し	亀久保囃子保存会	平成27年2月16日	民俗文化財	無形民俗	
53	駒 林 ・ 鈴 木 家 文 書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸~昭和619点
54	中 福 岡 ・ 富 田 家 文 書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸~昭和575点
55	川 崎 ・ 日 出 間 家 文 書	上福岡歴史民俗資料館	平成28年2月16日	有形文化財	古文書	江戸~昭和458点
56	ハケ遺跡古墳群1号墳出土埴輪	上福岡歴史民俗資料館	平成31年1月23日	有形文化財	考古資料	古墳後期(6世紀前半)人物埴輪7点

3 国登録有形文化財

	名 称	所在地・管理者	登録年月日	種別	種類	備考
1	回 漕 問 屋 吉 野 屋 土 蔵	福岡三丁目4-12 (河岸記念館駐車場隣)	平成10年9月25日	有形文化財	建造物	明治中期 1棟
2	旧 大 井 村 役 場	苗間34-6 (大井小学校隣)	平成14年2月14日	有形文化財	建造物	昭和12年 1棟



埼玉県指定史跡 権現山古墳群



国登録有形文化財 旧大井村役場

(5) 人権教育と平和事業の推進

ふじみ野市「同和行政基本方針」に基づき、市長部局と連携し、様々な人権問題を学ぶ機会として、講演会や映画会、講座、研修会を開催します。また、各小中学校の家庭教育学級と連携し、保護者に対する人権教育の機会を提供します。

さらに、市民との協働による平和事業を開催するとともに、旧陸軍造兵廠(火工廠)関係資料等の地域の戦争関連資料の保存・活用を図り、小中学校での平和学習に教材として提供できるようにします。

図書館においては、人権及び平和関連の映像資料、図書の収集・充実を図り、貸出しを行うことで地域における人権尊重意識の向上と平和教育の推進に取り組みます。

施策7 文化芸術・スポーツ活動を通じた地域交流、コミュニティの活性化

(1) 文化芸術活動の推進

文化芸術は、人々の精神活動の根幹であり、豊かな創造力や感性、受容性を育むとともに、教育や福祉の分野との連携による相乗効果を生み出す重要な活動です。このような文化芸術の役割をさらに推進するため、市民文化祭を開催し、市民や文化団体の活動交流や発表の場を提供します。また、公共施設の展示スペースを効果的に活用し、市民や文化団体の活動成果を発表する機会を拡充します。

併せて、文化施設の整備によって文化芸術活動の場を提供し、市内の文化芸術団体やふじみ野市文化協会、指定管理者と市が連携して多様な事業を展開します。さらに、アウトリーチや「アートフェスタふじみ野」、市内小中学生を対象とした文化芸術活動の支援を通じて、子供の頃から文化芸術に触れる機会を広げると同時に、誰もが文化芸術活動に参加できる環境づくりを推進します。

(2) スポーツ活動の推進

子供の発達段階に応じたスポーツの機会の充実を目指し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、パラスポーツの指導者、パラアスリートなどと連携・協働することで、障がいの有無や国籍を問わず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備を進めます。また、ふじみ野市の地域特性を踏まえた学校部活動の地域連携を支援するとともに、スポーツ協会やスポーツ施設指定管理者と協働し、地域全体でスポーツへの親しみを促します。さらに、スポーツ推進委員や自治組織などの地域コミュニティとも連携し、子供から高齢者まで年齢を問わず、誰もが健康づくりに取り組める機会を充実させ、地域や世代間の交流を促進していきます。

(3) 地域の文化芸術・スポーツクラブ活動と中学校部活動との連携・協働

市長部局等との連携により、地域の人材と学校の体育・市のスポーツ・文化施設をいかし、学校と地域全体で活動を支える・広げていくことにより、子供たちが生涯に渡ってスポーツ・文化活動に取り組む体制づくりに取り組んでいます。

地域の文化芸術・スポーツクラブ活動のリソースと中学校部活動のリソースを生かし合いながら、パートナーシップを結び、生涯文化芸術・スポーツの活性化のために、連携・協働した組織体制の基盤づくりと持続可能な運営体制の整備を推進します。



IV 学校紹介

1 小学校

(児童数については、令和8年5月1日現在)

大井小学校

校長：森 泉 周治郎

教頭：綾 部 貴 志



住 所：ふじみ野市苗間37

TEL：261-0242

FAX：261-0243

開 校：明治7年2月

児童数：394名

〔最上位ミッション〕

Road to O-I Well-being

子供の声を「きいて」幸せの花を咲かせよう

～すべての始まりは「きく」(聞く、聴く、訊く)ことから～

〔目指す学校像〕

「全ての人が安心して可能性を広げる学校」

～Safe to Be, Free to Become.～

〔学校教育目標〕

○仲よくする子 ○考える子 ○たくましい子

<特色>

【4つのC：Chance(チャンス)、Challenge(チャレンジ)、Change(チェンジ)、Charge(チャージ)】で、一人一人の今と未来を大切に笑顔あふれる教育と、「失敗は成功の種」を合言葉に主体的な活動を推進しています。

・目指す児童像

一人一人が「学校づくりの一員」になろう「若プロ」の推進

・目指す教師像

子供の関心に、関心をもち安心を生み出す声掛けをしよう

・目指す家庭・地域像

子供にとって「帰りたい家庭」「住みたい地域」を目指そう

福岡小学校

校長：山 下 貴 央

教頭：國 井 創



住 所：ふじみ野市西原2-6-1

TEL：261-0144

FAX：269-4603

開 校：明治11年1月17日

児童数：571名

〔学校教育目標〕

かしこく(知) やさしく(徳) たくましく(体)

〔目指す学校像〕

感謝と優しさ、笑顔あふれる学校

<特色>

1878年(明治11年)三福学校として開設した本校は、今年度で開校149年目を迎えます。

「花とあいさつ福岡小」を合言葉に1年中花が絶えないよう、児童が熱心に世話をしています。また、学校応援団による環境整備など諸活動も盛んです。

今年度も、「学校教育目標」を達成するため、学校運営協議会(福知会・ふくしる会)を核に、地域の各機関と連携した教育活動を進めています。

学校研究は、「楽しく学び、自信をもって自分を表現できる子の育成～こどもの自己肯定感や自己表現力を伸ばす授業～」の主題のもと、子供の自己肯定感や自己表現力を伸ばす授業や教員同士が学び合い支え合う同僚性について、研究に取り組んでいます。

駒西小学校

校長：抜井 由美子

教頭：福田 由美子



住所：ふじみ野市駒西3-6-1

TEL：261-5915

FAX：266-2753

開校：昭和42年4月1日

児童数：413名

〔目指す学校像〕

「子供が輝く学校 子供が伸びる学校 子供が大好きな学校」

〔学校教育目標〕

○心豊かな子（徳）「やさしさいっぱい」

○健康な子（体）「げんきいっぱい」

○考える子（知）「やるきいっぱい」

〔学校経営方針〕

○児童が主役！教育DXと人との関わりで学ぶ学校

○家庭・地域・学校の協働により、成長をじっかんでできる学校

○個別支援が充実した学校

<特色> 60周年の新しい歴史

「上福岡市立第3小学校」が開校したのは昭和42年。児童数228名、7学級、職員数は10名でした。平成17年の旧上福岡市、旧大井町合併に伴い「ふじみ野市立駒西小学校」と名称が変更されました。校歌は、昭和47年3月11日に制定されました。54年間歌い継がれてきました。その歌詞に、「おおきく おおきく おおきくならう」「べんきょう べんきょう べんきょうしよう」「なかよく なかよく なかよくしよう」とあります。谷川俊太郎さんや保護者、地域の「このような児童に育って欲しい」という思いが伝わってきます。その思いはしっかりと受け継がれ、とても素直で元気、仲のよい児童たちです。また、「令和の日本型学校教育」が目指しているタブレットを活用しながら主体的に学ぶことを積極的に進めています。これが本校の特色の一つでもあります。

上野台小学校

校長：宮下 宏樹

教頭：木村 孝代



住所：ふじみ野市福岡1-2-1

TEL：261-1415

FAX：261-0799

開校：平成14年4月1日

児童数：733名

〔目指す学校像〕

「やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢あふれる上野台小」

〔学校教育目標〕 光輝く子の育成

○友だちを大切にする子（徳）

○進んで学習する子（知）

○たくましく鍛える子（体）

〔学校経営方針〕

○主体的に学ぶ児童の育成

○豊かな心と人間関係づくりの推進

○ICT 機器活用（タブレット端末）の推進

<特色>

本校は、ふじみ野市役所に隣接する文教地区に位置し、地域の発展とともに歩んできました。地域協働学校（コミュニティ・スクール）として、学校・保護者・地域が目指す学校像・児童像を共有し、相互に連携・協働しながら児童を育む「共育」を推進しています。

校内においては、各教科の授業や学校生活の様々な場面において、多様な学びを重視した教育活動を展開しています。また、タブレット端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、授業改善と新たな学びの創造を職員一丸となって推進しています。

鶴ヶ丘小学校

校長：工藤和也

教頭：高橋佑一郎



住所：ふじみ野市鶴ヶ岡1-3-1

TEL：262-1008

FAX：262-1524

開校：昭和43年4月1日

児童数：479名

〔学校教育目標〕

○やさしく ○かしこく ○たくましく

〔目指す学校像〕

子供が生き生きと活動し、保護者・地域から信頼される学校
＜特色＞

本校では、目指す児童像「自分がされてうれしいことを人にする子」の実現に向け、徳・知・体のバランスのとれた教育課程を編成し、教育活動を推進しています。

また、「自分の考えをもち、適切に表現できる児童の育成」を研究主題として掲げ、「自分の考えを表現できる子」の育成を目指し、学びの充実に取り組んでいます。

家庭・地域との連携では、登下校の見守りや読み聞かせ、ミシン学習、スポーツテスト、プール学習、町探検、ガーデニングなど、様々な教育課程において、学校応援団の皆様に、ご協力をいただいております。

さらに、地域協働学校の取組では、教職員・保護者・地域の方々が一丸となり、目指す学校像の実現に向けて、様々な活動の充実に努めています。学校運営協議会委員の皆様が熟議を重ね、知恵やアイデアを出し合いながら、鶴ヶ丘小学区の子供たちのよりよい成長と教育活動の充実を目指しています。

西小学校

校長：清水愛子

教頭：野坂秀樹



住所：ふじみ野市西2-10-25

TEL：261-1200

FAX：266-2579

開校：昭和44年4月1日

児童数：470名

〔目指す学校像〕

「ウェルビーイングを高め、主体的に未来を切り拓く力を育む学校～地域教育拠点としての「学校」の進化～」

〔学校教育目標〕

○やさしく(徳育) ○かしこく(知育) ○たくましく(体育)

～思いやりを持ち進んで学びに向かい前向きに生きる児童の育成～

＜特色＞

本校は、東武東上線福岡駅西口から徒歩8分、川越市に隣接した、国道254号線の近くに位置する学校です。周囲を住宅街に囲まれ、開校58年目を迎える、伝統ある学校です。

本年度も「すべては子供『幸せ』のために」を教育指針とし、「西小ウェルビーイング」(通って幸せ 通わせて幸せ 働いて幸せ 関わって幸せ)の実現を目指して、教育活動を進めています。

また、本年度より2年間、埼玉県教育委員会「体力向上課題解決研究校」に指定され、体力向上のための指導法の工夫・改善に取り組んでいます。

昨年度より、保護者や地域の方々など子供を取り巻く大人が子供たちに関わる機会をより多くもてるよう、「共育の日」を導入しています。環境整備や学習支援など、学校運営協議会(西小サポートの会 NSK)のメンバーを中心として力をいただき、取組を進めています。

NSKにおいてかねてから大事にしている「子供たちには幸せに生きてほしい。自分以外の人も幸せにしてほしい。」という願いを学校職員、保護者、地域の方々が共有し、目指す学校像の実現に向け、共に汗を流して教育活動に取り組んでいます。

東 原 小 学 校

校 長：星 野 和 久

教 頭：齋 藤 範 之



住 所：ふじみ野市大井2-9-1

TEL：264-8519

FAX：264-8563

開 校：昭和49年4月1日

児童数：689名

〔学校教育目標〕

- なかよく ― 認め合い 助け合う子 ―
- かしこく ― 自ら考え 判断し 伝える子 ―
- たくましく ― 健康で ねばり強い子 ―

〔目指す学校像〕

- 笑顔があふれる学校
- あいさつが響きあう学校
- 安心・安全で美しい学校

〔目指す教職員像〕

- 児童に愛情をもって教育活動に専念する教職員
- 保護者・地域との連携を大切にする教職員

〔学校経営方針〕

「よさを認め、褒めて伸ばす」

- ①よさを認め、褒めて伸ばす教育の実践（学級経営の充実）
- ②教職員の資質向上 ③生徒指導の共通行動 ④授業の充実（学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の推進） ⑤CBTの推進（GIGA スクール構想の実現） ⑥人権を尊重し、豊かな心を育てる教育（いじめ防止の徹底） ⑦安全・安心の充実（事故防止の徹底） ⑧統合後の見届けと新たな東原小学校の伝統の構築（新たな教育課程の編成） ⑨地域協働学校の推進（児童・保護者・地域・教職員を大切にできる温かな学校づくり）

西 原 小 学 校

校 長：村 越 澄 子

教 頭：高 田 弘 子



住 所：ふじみ野市大井武蔵野1322-4

TEL：264-5404

FAX：264-5433

開 校：昭和50年4月1日

児童数：223名

〔学校教育目標〕

- かしこく(知) なかよく(徳) げんきよく(体)
- ～確かな学力 豊かな心 すこやかな体を育む西原小学校～

〔学校経営方針〕

ひとみかがやく あったかな西原小学校

〔めざす学校像〕

- ・教師が自ら成長する学校
- ・児童が主体的に仲間とともに学び、和を結ぶ学校
- ・保護者が信頼できる学校
- ・地域が愛情を注ぎ続ける学校

〔めざす教師像〕

- ・自ら成長、挑戦する教師
- ・児童を伸ばす教師
- ・教職員と共通行動する教師
- ・明るく健康な教師

〔めざす地域像〕

- ・家庭は子の欠乏欲求を満たす
- ・地域は児童に愛情を注ぎ続ける
- ・学校では地域に愛される子を育てていく

〔めざす校長像〕

- ・児童・保護者・地域・教職員の声にスピード感を持って対応する
- ・社会に向けて説明責任を果たす
- ・教師のよさをさらに伸ばす
- ・児童・保護者・地域・教職員に愛情を注ぎ続け、和を大事にする
- ・挑戦、発信、研修を怠らない ・常に健康を維持する

元 福 小 学 校

校 長：木 内 芳 仁

教 頭：丸 野 信次郎



住 所：ふじみ野市元福岡3-15-2

TEL：264-5402

FAX：266-2796

開 校：昭和50年4月1日

児童数：317名

〔学校教育目標〕

○かしこく ○なかよく ○たくましく

〔目指す学校像〕

認め合い、励まし合い、挑戦することで自信を育てる学校

〔学校キャッチフレーズ〕

チーム元福小 ～自分開花～

も … motivation （やる気を出して）

と … together （みんな一緒に、協働で）

ふ … friendly （お互いを思いやりながら）

く … create （創造する）

〔目指す児童像〕

何事にも挑戦し、自分に自信がもてる児童

〔目指す教職員像〕

児童の挑戦を支え、全力で応援する教師

〔学校経営方針〕

挑戦したことを認め、褒めて、自信を育てる

「失敗しても大丈夫。

勇気を出してやってみよう！」

亀 久 保 小 学 校

校 長：鈴 木 孝 雄

教 頭：津 野 孝 志



住 所：ふじみ野市ふじみ野2-22-1

TEL：263-7533

FAX：263-7583

開 校：昭和52年4月1日

児童数：536名

〔学校教育目標〕ともにのびる子

○ともに思い合う子（徳） ○ともに学び合う子（知） ○ともに高め合う子（体）

〔学校経営方針〕

目指す学校像

子供のよさや可能性を伸ばし、笑顔あふれる学校

目指す子供像

自分のよさと可能性を伸ばし、共に高め合う子

○人を大切にする子 ← とともに思い合う子（徳）

○自ら考え進んで活動する子 ← とともに学び合う子（知）

○心も体もたくましい子 ← とともに高め合う子（体）

<特色>

本校は、あった会議（学校運営協議会）や、あったか団（学校応援団）を中心に、保護者・地域と協働して、地域とともにある学校運営を推進しています。その強みを生かし、一人一人の子供のよさや可能性を導いていきます。

<学校・保護者の方・地域の方との「共創」>

- ・学校運営協議会（あった会議）の充実
- ・PTA 運営と学校運営の共通理解
- ・開校50周年事業に係る思いの一元化

三 角 小 学 校

校 長：松 本 正 彦

教 頭：天 城 学



住 所：ふじみ野市亀久保1709-1

TEL：264-5001

FAX：264-5018

開 校：昭和53年4月1日

児童数：395名

〔学校教育目標〕

－ ゆめのある子 －

○かしこい子 ○やさしい子 ○たくましい子

<特色>

本校は、「明るいあいさつ 笑顔あふれる 三角小学校」を合言葉に、子供たちが安心して学び、仲間とつながりながら成長できる学校づくりを進めています。

今年度は「真心と調和のあったかな共育」と「笑顔いっぱい、やる気いっぱい、つばやきいっぱい」をキーワードに、学びの質を一層高めます。“つばやき”とは、子供たちの気づきやひらめきのことです。日々の授業や生活で生まれる小さな声を大切に、共有しながら学びを深めていきます。

また、本校は地域とともに子供を育てる地域協働学校として、見守りや学習支援、行事参加などを通して地域の力を生かしていきます。子どもたちが地域に誇りをもち、安心して通い、達成感・成就感を味わえる学校を目指し、教職員一丸となって教育活動を進めています。

さ ぎ の 森 小 学 校

校 長：永 谷 拓 紀

教 頭：栗 原 洋 人



住 所：ふじみ野市駒林28

TEL：263-2260

FAX：266-2983

開 校：昭和56年4月1日

児童数：330名

〔学校教育目標〕

○心豊かな子(徳育)

○体をきたえる子(体育)

○学び合う子(知育)

<特色>

開校46年目を迎え、「子どもが通いたい、保護者・地域が通わせたいと思うあったかな学校」を目指しています。本校の教育活動の特色の一つとして、1年生から6年生までの異年齢集団による日常の清掃、「さぎ小フェスティバル」や授業前のたてわり遊びの取組があります。活動を通して児童の主体性、思いやり、協調性、高学年のリーダー性を育成し、よき校風・伝統となっています。また、ビオトープ「七色川」のある自然豊かな環境にも恵まれています。

さらに、学校運営協議会や学校応援団の地域・保護者の温かいご支援のもと、地域での登下校の見守りだけでなく、学校ファームでの農作物栽培、蒔玉づくり体験教室、読み聞かせや学習支援などにもご協力いただき、教育活動が充実しています。

「さぎの森小の良さの継承と更なる充実」をコンセプトとし、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指して教職員一丸となって取り組んでいます。

2 中学校

(生徒数については、令和8年5月1日現在)

大井中学校

校長：石川 聖徳

教頭：椎名 広貴



住所：ふじみ野市苗間24-1

TEL：261-0005

FAX：261-0691

開校：昭和22年4月1日

生徒数：548名

〔学校教育目標〕

「心豊かでたくましい生徒」

校訓 「誠実」「勤勉」「協同」

昭和22年(1947年)に開校し、80年目を迎えた保護者、地域とのつながりが強く感じられる地域に根ざした歴史と伝統のある学校です。

ワクワクする大井中「共育」～持続可能な社会の創り手となる人材を育成～を教育理念としています。

令和8年度の指導の重点は、①指導と評価の一体化、②いじめ・不登校対策、③地域協働学校とし、社会に開かれた教育課程の実現に取り組んでいます。目指す生徒像「なりたい自分になる生徒」・目指す学校像「なりたい自分にする学校」・目指す教職員像「なりたい」を支援する教職員」に向けて、教職員が一丸となり教育活動に取り組んでいます。

福岡中学校

校長：清水 篤史

教頭：竹内 寛人



住所：ふじみ野市上野台3-3-1

TEL：261-0142

FAX：266-3106

開校：昭和22年4月1日

生徒数：723名

〔学校教育目標〕

自ら生きる力を培う生徒

徳【友愛】 思いやりのある生徒

智【自学】 自ら学び、自ら考える生徒

体【強健】 心身ともにたくましい生徒

<特色>

本校はふじみ野市の中心部に位置し、開校80年目を迎えています。明るい校舎に、散在する松の木が歴史を感じさせています。

校訓「ともに学ばん ともに励まん ともに磨かん」に基づき、「生徒の笑顔にあふれ、だれもが集う学校」を目指す学校像として日々の教育活動に取り組んでいます。一人一人の生徒に確かな学力を育成するために、教育DXを推進し、多様なニーズに対応しながら、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくりをしています。また、「すべては子供たちのために」を合言葉に、学校運営協議会を中心に、学校・家庭・地域の連携を一層推進し、子供たちの今に寄り添う教育活動に取り組んでいます。

葦原中学校

校長：諏訪 太介

教頭：恩田 ルイ



住所：ふじみ野市川崎310

TEL：262-5433

FAX：269-4605

開校：昭和46年4月1日

生徒数：298名

〔学校教育目標〕

「知・徳・体のバランスのとれた

「生きる力」を持った生徒の育成」

◎葦原中学校が大好きという思いを持つ生徒

◎あいさつが自然と言葉と態度のできる生徒

◎自分がされて嬉しいことを他にもできる生徒

◎目標に向かってがんばる生徒

〔目指す学校像〕

「時を守り・場を清め・礼を尽くす」温かな葦原中学校

<特色>

令和8年度の重点目標を「こどもまんなか葦原中学校」の実現とし、子供の命を守り、子供・保護者・地域を幸せにできる地域とともに歩む葦原中を目指し、地域協働学校の取組を進めていきます。

56期生徒会スローガンは「昇華」です。「①個人、②交流、③学習、④地域」の4つの観点から、よりよい葦原中を実現するという思いがこめられています。

花の木中学校

校長：栗田 大悟

教頭：高橋 伸行



住所：ふじみ野市中福岡213-1

TEL：264-5400

FAX：266-3246

開校：昭和50年4月1日

生徒数：446名

〔学校教育目標〕

「自ら学ぶ心豊かでたくましい生徒の育成」

○自ら学び、自ら課題を解決する生徒（知）

○豊かな心を育む生徒（徳）

○進んで身体を鍛える生徒（体）

〔目指す学校像〕

「花いっぱい 笑顔があふれ

自分も仲間も好きになる 花の木中学校」

<特色>

本校では、「認め、励まし、伸ばす」という視点をもって、生徒一人一人を大切にした教育を推進するとともに、家庭や地域との絆を深めながら、地域協働学校の取組を進めています。

本年度の重点として、①ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」への授業改善、②生徒と教師の信頼関係を土台とする「豊かな心」の育成、③「自分の身体や体力への関心」を高め、「体を鍛え、最後まで頑張る子」の育成、に取り組んでいます。

大井西中学校

校長：榎本 崇

教頭：和田 澄子



住所：ふじみ野市大井武蔵野408-1

TEL：264-1030

FAX：264-1042

開校：昭和51年4月1日

生徒数：362名

〔学校教育目標〕

◎優しく、賢く、逞しく ～今が大切～

<特色>

本校は令和元年度より「地域協働学校」として「生徒・保護者・地域・学校・市行政」の連携により様々な教育活動に取り組んでいます。

「自律・自立・共生・共創の精神を育む、感謝・感動・共感にあふれた学校」を目指す学校像に掲げ、地域の方々とよりよい信頼関係を育み、生徒の健全育成を図っています。本校の生徒は、「S級のあいさつ」や「JRC（青少年赤十字）活動」による福祉・ボランティア教育に進んで取り組んでいます。

むさしの桔梗会議（大井西中学校 学校運営協議会）において、学校課題の解決に向けた様々なご意見やご提言をいただいています。

今年10月31日には、「ふれあい西中祭」として、生徒や職員、PTA、学校運営協議会委員の方々、そして地域の方々とともに学校が地域の核となる行事の取り組みを計画しています。生徒が主体的に取り組めるような教育活動を推進し、「大井西中学校が大好き」という生徒の育成を目指します。

大井東中学校

校長：今伊 大

教頭：鈴木 健太郎



住所：ふじみ野市ふじみ野3-2-1

TEL：263-5181

FAX：263-5182

開校：昭和56年4月1日

生徒数：576名

〔学校教育目標〕

1 豊かな心（徳）

2 学ぶ力（知）

3 健全な身体（体）

<特色>

「地域協働学校」として、「誰一人取り残すことのない、認め合い、助け合う、ぬくもりのある学校」を目指す学校像に掲げ、様々な教育活動に取り組んでいます。また、学校運営協議会が中心となり、町会や生徒会と共に、様々な活動を計画し、実施しています。花植えやお祭りのボランティアには多くの生徒、家庭、地域の皆様に参加し、絆を深めています。

本校の自慢は、生徒のていねいでさわやかな挨拶です。生徒会が「挨拶がしたいされたい大井東へ」という「大井東挨拶プライド」を作り、4つの柱を立てて、挨拶運動を推進しています。このように、学校行事や生徒会活動では生徒の主体的な活動が軸となっています。

第45期生徒会スローガンは「全進」です。「自ら考動、Team 東」「アツい行事、Team 東」「個人を尊重、Team 東」を目指して、活動しています。

～ 児童・生徒数の推移 ～

◎ 小学校

(各年度5月1日現在)

No	学 校 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	大井小学校	431	422	403	410	394
2	福岡小学校	633	611	608	585	571
3	駒西小学校	499	476	456	429	413
4	上野台小学校	830	844	821	786	733
5	鶴ヶ丘小学校	574	558	535	513	479
6	西小学校	507	507	499	486	470
7	東原小学校	568	578	584	700	689
8	西原小学校	216	219	224	220	223
9	元福小学校	234	246	272	302	317
10	亀久保小学校	613	603	583	542	536
11	三角小学校	547	525	511	448	395
12	さぎの森小学校	403	379	370	351	330
13	東台小学校※	126	116	106		
	合 計	6,181	6,084	5,972	5,772	5,550

※東台小学校は、令和7年4月に東原小学校と統合し、休校中。

◎ 中学校

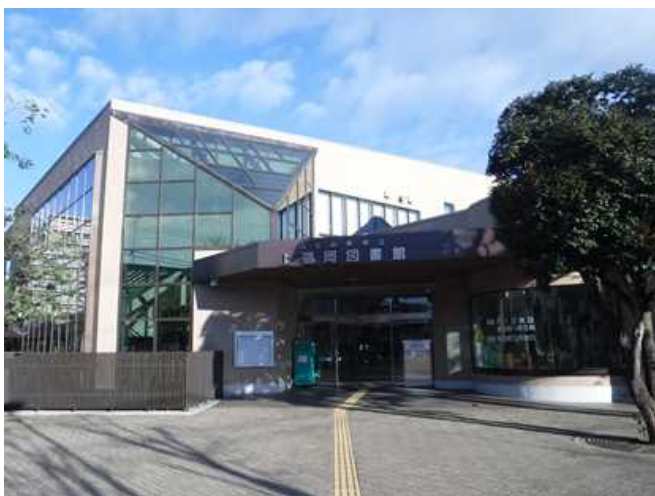
No	学 校 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	大井中学校	603	575	558	525	548
2	福岡中学校	617	642	668	696	723
3	葦原中学校	344	324	318	291	298
4	花の木中学校	448	493	475	482	446
5	大井西中学校	309	299	323	354	362
6	大井東中学校	549	557	595	590	576
	合 計	2,870	2,890	2,937	2,938	2,953

V 社会教育施設紹介

1 図書館

市民の「知りたい、学びたい、楽しみたい」に役立つ情報拠点を目指して、図書の貸出やインターネット検索、パソコンの貸出などを行っています。テーマ展示やビジネス支援コーナーを開設するなど生活に役立つ情報を提供するとともに、下記表内の事業を実施しています。

○ 上福岡図書館

所在地	ふじみ野市上野台 3-3-1		
開設年月日	平成6年4月1日		
TEL	262-3710		
FAX	262-8151		
開館時間	午前9時～午後8時		
休館日	第3月曜日(祝日の場合は、その翌日)・年末年始(12月29日～1月4日) 特別整理期間(年15日以内)		
蔵書冊数	392,731冊 (令和8年3月31日現在)		
貸出総数	494,485冊 (令和8年3月31日現在)		
利用方法	利用カード交付申請書を記入し、住所の確認できるもの(マイナンバーカード・運転免許証・学生証など)を持ってカウンター窓口にお越しください。 集会室・視聴覚ホールは公共施設予約システムの「利用者登録」および「利用許可申込」をし、インターネット及び専用端末から利用の予約をします。詳しくは市HPの利用者ガイドとふじみ野市立図書館のHPの利用案内をご覧ください。		
施設概要			実施事業
<1階> ・一般書コーナー・児童書コーナー ・おはなしのへや・ティーンエイジコーナー ・新聞雑誌コーナー・調べもののコーナー ・視聴覚コーナー・展示コーナー ・予約本受取コーナー・くつろぎスポット ・サービスカウンター ・グループ学習室・対面朗読室 ・事務室・授乳室 <2階> ・集会室1・集会室2・視聴覚ホール <地階> ・書庫		・学校図書館支援事業 ・読み聞かせ講座 ・子ども司書講座 ・移動図書館サービス ・調べる学習コンクール ・学校への団体貸出 ・レファレンスサービス ・障がい者サービス ・ブックスタート事業 ・利用者向け託児サービス(図書館育児アドバイザー) ・テーマ展示 ・生涯学習講座 ・ボランティアとの協働事業(おはなし会) ・ボランティア育成講座 ・地域資料、郷土資料の収集・整備 ・図書館まつり ・大人のための朗読会 ・人権関連図書の展示 ・戦争・平和関係図書の展示	

○ 大井図書館

所在地	ふじみ野市大井中央2-1-8 「ふじみ野ステラ・ウェスト」内	
開設年月日	令和5年11月4日	
TEL	263-1100	
FAX	263-3091	
開館時間	午前9時～午後8時(予約本受 取コーナーは午後10時まで)	
休館日	第2月曜日(祝日の場合は、そ の翌日)・年末年始(12月29日 ～1月4日) 特別整理期間(年15日以内)	
蔵書冊数	186,887冊 (令和8年3月31日現在)	
貸出総数	318,777冊 (令和8年3月31日現在)	
利用方法	利用カード交付申請書を記入し、住所の確認できるもの(マイナンバーカード・運転免許証・学生証など)を持ってカウンター窓口にお越しください。	
施設概要 <1階> ・図書館カウンター(図書館総合案内) ・予約本受取コーナー・雑誌 ・自動返却機 <2階> ・一般書(文庫本・小説) <3階> ・こどもカウンター・おはなしのへや ・こどものほん・読み聞かせ本・大型本 ・ティーン <4階> ・しらべものカウンター ・視聴覚(CD、DVD、カセットテープ) ・参考図書 ・一般書(文庫本・小説以外)・郷土資料・新聞 <地階> ・書庫		実施事業 ・学校支援サービス(出張おはなし会、学校訪問) ・読み聞かせ講座(保護者・地域ボランティア) ・学校への団体貸出 ・レファレンスサービス ・障がい者サービス ・ブックスタート事業 ・テーマ展示 ・生涯学習講座 ・地域文庫活動、文庫のつどい ・ボランティアとの協働事業(おはなし会、語りのおはなし会、パソコン相談室) ・ボランティア育成講座 ・地域資料、郷土資料の収集・整備 ・図書館まつり ・大人のためのおはなし会(語りによる昔話) ・人権関連図書の展示 ・戦争・平和関係図書の展示

2 博 物 館

○ ふじみ野市立博物館

「陸のみち」「川のみち」をテーマの中心とし、ふじみ野市の原始から近現代までの歴史を紹介する常設展示のほか、随時テーマを設けて、市内外の文化財を展示・紹介する特別展や企画展を実施し、地域の歴史や郷土の文化を学ぶ機会となるよう、地域に根ざした教育普及事業を行います。また、通年で、市内の歴史・文化を明らかにするため、文化財資料の収集・調査を行い、寄贈資料の台帳登録、収蔵カードの作成等を継続的に進めています。

所在地	ふじみ野市大井中央2-19-5	
開設年月日	令和8年9月1日	
TEL	263-3111	
FAX	269-4817	
開館時間	<常設展示室> 午前9時～午後4時30分 <研修室・会議室、ギャラリー、体験学習スペース> 午前9時～午後8時	
休館日	・毎週月曜日(祝日にあたる時は翌平日) ・年末年始 (12月28日～1月4日)	
入館料	無料	
施設概要	<1階> ・常設展示室、ギャラリー、体験学習スペース、文化財整理作業室 <2階> ・研修室、会議室、収蔵庫	
貸出施設	研修室、会議室	
利用方法	公共施設予約システムの利用者登録をし、インターネットから利用の予約をします。詳しくは市HPの利用者ガイドをご覧ください。	
抽選申込み	① 抽選受付期間 …利用月の3カ月前の21日から末日まで ② 抽 選 日 …利用月の2カ月前の1日 ③ 抽選の確認期間…利用月の2カ月前の2日から11日 ※抽選の確認期間中に当選日の予約手続きを行わないと、当選が無効になります。	
予約申込み	利用月の2カ月前の12日から利用日の3日前まで(抽選後、空いている日のみ受付)	

実施事業	・展示事業 ＜常設展示＞ 1、ふじみ野のすがた / 2、陸のみち / 3、川のみち / 4、ここに暮らす / 5、未来へつづくみち ＜特別展・企画展(予定)＞ ・オープニング関連展示 ・「昔のくらしと昔の学校」(1～3月予定) ＜教育普及事業(予定)＞ ・触れられる土器レプリカの展示 ・大正から昭和初めに市内にあった機織り工場で生産されていた柄を再現した着物の着付け体験 ・藍染体験 ・機織り機での小敷物作り体験 ・小学校3年生対象社会科体験学習など
------	---

○ 福岡河岸記念館

明治時代に建てられた船問屋福田屋の建物(市指定文化財)を公開するとともに、新河岸川舟運や福岡河岸、船問屋の歴史と舟運が繁栄していた当時の暮らしを知ってもらうよう、帳場や台所の再現、新河岸川荷船の船具である帆柱やオカジの展示、解説パネル等の設置をしています。

福岡河岸記念館について、より深く知っていただくよう、「帳場」「神道無念流道場壁書」「文庫蔵」「離れ」「屋敷神」についての展示解説シートを作成し、来館者が自由に持ち帰りできるようにしています。

所在地	ふじみ野市福岡 3-4-2	
開設年月日	平成8年11月3日	
TEL	269-4859	
開館時間	午前10時～午後4時30分 (5月から9月) 午前10時～午後4時 (10月から4月)	
休館日	・毎週月曜日 (祝日にあたるときも休館) ・年末年始 (12月27日～1月4日)	
入館料	一般・学生 100円 児童・生徒 50円 (20人以上団体割引有り)	
施設概要		実施事業
市指定文化財回漕問屋福田屋		・展示事業
<主屋・台所>		常設展示
・木造2階建 建築面積 185.19㎡		フォト・絵画コンテスト
延床面積 280.88㎡		季節展示
<文庫蔵>		・無料公開
・木造2階建 建築面積 50.98㎡		「国際博物館の日」(5/18)
延床面積 84.10㎡		「福岡河岸まつり」(8/22)
<離れ>		「県民の日」(11/14)
木造3階建 建築面積 33.95㎡		・教育普及事業
延床面積 91.91㎡		特別講座
		体験学習(機織り体験)(7月、9月、10月)
		体験学習(ほうきづくり)(予定)
		・三階建離れの特別公開(全13回)



教育施設案内図

